

SFC CNSガイド  
2007年度版 冊子版

慶應義塾湘南藤沢インフォメーションテクノロジーセンター



## 本書について

---

本書は、SFC-CNS を利用しようとする人のために書かれています。SFC において学ぶ学生、そこで教育や研究をする教員、大学の活動を支える職員、その他 SFC のさまざまな活動に関係している人たちが、SFC-CNS を有効に利用しようとするときに参考になることを意図しています。

SFC は 1990 年 4 月の開設以来、今年で 17 年目を迎えました。SFC-CNS は本格的な教育研究支援システムを目指して設計、構築され、毎年の更新により常に進化してきました。SFC-CNS では、継続的に機器の更新を行っており、現在、モバイル環境支援、教室のデジタル化、マルチメディア・システムおよび周辺機器導入、マルチメディア・コンテンツ（画像、映像、音声、文書などのメディア・コンテンツ）作成・処理機能支援など、21 世紀のデジタルキャンパスとしてふさわしいキャンパスネットワークシステムを構築することを目標として環境の強化に努めています。

本書は、SFC 開設時から学生諸君を中心とする CNS ガイド編集委員によって作成されてきましたが、SFC-CNS の発展と進化にあわせて、分量、形式ともに変化しています。今年度は、いつも持ち歩いて読めるように主要部分をパンフレット形式として配布し、詳細を記述した部分は Web 上で閲覧できるように連携をもたせて構成してあります。パンフレット形式の部分には最重要事項が記述されており、また、Web 上のものには詳細が記述されていますので、それらを併用して、有効に利用してください。

SFC-CNS は、UNIX、Windows、その他多種多様の計算機が利用できる分散コンピューティング環境です。数多くの種類の計算機に触れ、利用することは、情報技術を身につけ理解する上で、重要なことですので、特に学生のみなさんには、この環境を有効活用してほしいと思います。

ここで、SFC-CNS を利用するすべての方々をお願いしたいことがあります。それは、次に示すような情報社会の倫理をしっかり身につけて守って欲しいということです。

- ソフトウェアの著作権等の知的所有権を尊重して、ソフトウェアの違法コピーは決してしないこと。また他人のファイルは尊重し、許可なく覗かないこと。
  - SFC-CNS は教育、研究のためのシステムであることを理解し、それ以外の目的には使用しないこと。
  - SFC 以外の組織のコンピュータに事前の許可なくリモートログインしようとは決してしないこと。
  - SFC および SFC 以外の組織の掲示板等に落書きなどのいたずらは決してしないこと。
  - 電子メールは読む相手がいることを意識し、中傷メールなどは決して送らないこと。また、チェーンメールなどは決して送らないこと。
  - ホームページの内容は、世界中の誰でも読むことができることを認識し、内容を作成すること。作成に関して画像ファイルの違法コピーなど、他人の権利を決して侵害しないこと。
-

－ その他、他人に迷惑のかかることは決してしないこと。

何か不安に思ったり、わからないことがある場合は、事前にメディアセンターの各コンサルタントおよび ITC に相談してください。

また、SFC-CNS はオープンなシステムを目指しており、管理や利用制限はなるべく行わず、自由にシステムを利用し、SFC において教育・研究が行えるようにしています。そのため、SFC-CNS は利用する人々によってが共有されていることを認識し、秩序ある利用を心掛けてください。

本書の製作にあたっては、インフォメーションテクノロジーセンターに編集委員会を設け、内容の決定、執筆依頼、編集、内容のチェックなどを行ってきました。編集委員は、主として SFC-CNS の利用者である教職員と学生で組織していますが、学生諸君が大きな役割を果たしています。また、現在までに発行された版への意見や SFC-CNS に対する質問などを努めて反映しています。本書は、SFC における新しいコンピュータリテラシやメディアリテラシを身につけるための最も実践的な解説書としても位置付けられます。

今年度版の製作にあたり、資料の整理や内容のチェックなどさまざまな手伝いをして頂いた CNS コンサルタントの皆さんに深く感謝致します。また、今までの SFC CNS ガイドに関わってきた多くの皆様に感謝する次第です。最後に、この SFC CNS ガイドが、SFC-CNS で提供されている分散コンピューティング環境の今後の発展に寄与することを期待しています。

2007年3月

湘南藤沢ITC所長

楠本博之

SFC CNSガイド編集委員

浅田麻里 磯田美菜 今村春菜 金子明日香

菊池健 小島美智子 齊藤拓也 外池千尋

中村恵里子 深澤瑠衣子 松原弘典 六田佳祐

インフォメーション・テクノロジーセンター

紺野美英 佐藤純子 藤井清 山根健

重近範行 清水智公 直江健介

---

# 目次

---

CNS へようこそ	①
1.1 施設案内	2
施設利用	2
メディアセンター	2
新オープンエリア	2
特別教室 ( κ 18, ε 17, ι 18, ο 17, λ 11, λ 18, λ 21)	3
1.2 アカウント	4
アカウントについて	4
パスワードに関する注意	4
CNS パスワード	5
CNS パスワードの有効期限	5
1.3 パスワードの変更	6
リモートログイン	6
CNS パスワードの変更	6
IMAP パスワードの変更	7
1.4 貸出サービス	9
ノート PC および周辺機器貸出	9
AV 機器貸出	9
1.5 プリンタの利用	11
設置場所	11
印刷料金について	12
プリンタの利用通知	12
年間印刷枚数の確認	13
1.6 サポート体制	14
CNS/ERNS サービス窓口	14
CNS コンサルタント	14
AV コンサルタント	15
DB コンサルタント	15
看護ファクトタム	15
1.7 サイトライセンスソフトウェア	16
オンライン申請可能なソフトウェア	16
オンライン申請	16
1.8 利用に申請が必要なサービス	17
1.9 CNS 利用に関する注意	18

---

コンピュータを利用しながら飲食をしないこと	18
コンピュータを占有しないこと	18
著作物を適切に取り扱うこと	18
1.10 著作物の取り扱い	19
著作権の侵害	19
著作者の許可がなくても正当な利用方法	19
引用	19
著作権法上の権利の目的とならない著作物	20
オープンコンテンツ	20
P2P ファイル交換ソフトウェア利用上の注意	20

## ノート PC の利用

21

2.1 ノート PC 利用上の注意	22
キャンパス内でのノート PC	22
ノート PC 利用上の注意	22
2.2 キャンパス内でのインターネット接続	23
有線 LAN と無線 LAN	23
Windows での無線 LAN 接続	23
Macintosh での無線設定	27
2.3 Web ページの閲覧	29
Windows での Web ページ閲覧	29
Macintosh での Web ページ閲覧	30
2.4 メールを利用するための準備	31
Thunderbird のダウンロード	31
Thunderbird のインストール (Windows の場合)	32
Thunderbird のインストール (Macintosh の場合)	33
Thunderbird のアカウント設定	34
2.5 メールの送受信	38
メールの受信	38
メールの送信	38
2.6 セキュリティアップデート	40
アップデートの意義	40
Windows Update	41
Macintosh のソフトウェア・アップデート	43
2.7 アンチウイルスソフトウェアのインストール	44
アンチウイルスソフトウェア	44
ウイルスバスターの利用申請とダウンロード	44

## SFCに関する Web サイト

51

3.1 SFCに関するニュースを見る	52
3.2 CNSに関するニュースを見る	53
3.3 コンピュータに関する疑問を解決する	54
CNS コンサルタント	54
ITC	54
3.4 休講・補講情報を見る	55
3.5 レポートを提出する	56
レポート提出に関する注意点	56
Web サイトからレポートを提出する	56
提出済みレポートを確認する	57
3.6 体育を予約する	58
3.7 授業調査の結果を見る	59
3.8 シラバスを見る	60
講義案内・シラバス・授業検索	60
研究会シラバス	60
3.9 Global Campus を利用する	61
講義の視聴	61
視聴に関して	62
3.10 学内 only コンテンツを見るには	63

## 付録

65

SFC-CNS 利用内規	66
湘南藤沢キャンパス—キャンパスネットワークシステム利用内規	66
貸出ノート PC ソフトウェア一覧	67
CNS 関係連絡先	68
ITC	68
CNS コンサルタント	68
AV コンサルタント	68
DB コンサルタント	68
看護ファクトタム	68
SFC CNS ガイドの版権・著作権について	69

CNS へようこそ

---

## 1.1 施設案内

各教室に置かれているコンピュータの設置目的は、それぞれ異なります。ここでは各施設の利用時間や、設置されている機器について説明します。

### 施設利用

学生は原則として 24 時間 365 日 CNS を利用できますが、CNS のコンピュータが設置されている学内の施設に入館・入室するには学生証が必要です。学生証を所持していない場合、施設を利用できないので必ず携帯してください。また午後 11 時から翌日の午前 8 時の間に施設を利用する場合は、見回りの警備員が配布する夜間残留許可願に必要な事項を記入して提出しなければなりません。

### メディアセンター

平日は 9:15 ~ 23:00、土曜日は 9:15 ~ 19:00 に開館しています。日曜および祝祭日は休館です。長期休業などにより開館日・開館時間が変更になる場合は、メディアセンターの Web サイトに掲載されます。

メディアセンターには下表にあげるコンピュータが設置されています。また多数の AV 機器が設置されており、VHS のダビングや DVD の編集も可能です。

表1.1 メディアセンターに設置されているコンピュータ

場所	機器・サービス	台数	ホスト名	備考
オープンエリア	Windows	5 台	mcsupc01 ~ mcsupc05	一時利用用
	Windows	5 台	mcvspsc01 ~ mcvspsc05	スキャナ専用
	Mac OS	5 台	mcmac01 ~ mcmac05	音楽制作用
	モノクロプリンタ	2 台		
	カラープリンタ	2 台		
クリエイティブルーム	Windows	13 台	mcatr010 ~ mcatr022	映像編集用
	Windows	10 台	mcatr000 ~ mcatr009	映像編集用
	Mac OS	4 台	mcmac06 ~ mcmac09	音楽制作用

### 新オープンエリア

メディアセンターの北側にある新オープンエリアは、原則的に 24 時間利用できます。コンピュータは設置されていません。モノクロプリンタが 1 台あります。長期休業や諸事情で開室日・開室時間が変更になる場合は、メディアセンターの Web サイトに掲載されます。

## 特別教室 (κ 18, ε 17, ι 18, ο 17, λ 11, λ 18, λ 21)

原則的に24時間利用できますが、授業で使用している時間帯は利用できません。授業で使用している時間には、教室のドアに張り紙がしてあります。また、夏季一斉休業中と年末年始の指定された期間はすべての特別教室が利用できなくなります。

表1.2 特別教室で利用可能な機器、サービス

場所	機器・サービス	台数	ホスト名
κ 18	Mac OS X	40 台	zmac000 ~ zmac039
	モノクロプリンタ	1 台	
ε 17	Mac OS X	40 台	zmac040 ~ zmac079
	モノクロプリンタ	1 台	
ι 18	Mac OS X	40 台	zmac080 ~ zmac119
	モノクロプリンタ	1 台	
ο 17	Mac OS X	40 台	zmac120 ~ zmac159
	モノクロプリンタ	1 台	
λ 11	Windows	41 台	ixp000 ~ ixp040
	モノクロプリンタ	1 台	
	カラープリンタ	1 台	
λ 18	Windows	40 台	ispc000 ~ ispc039
	モノクロプリンタ	1 台	
λ 21	Mac OS X	40 台	g4mac00 ~ g4mac40
	カラープリンタ	1 台	

## 1.2 アカウント

---

CNSでは学生や教職員、卒業生など多くの方がコンピュータを利用します。コンピュータの利用者のことを“ユーザ”といい、コンピュータを利用できる権利を“アカウント”といいます。CNSを利用するためのアカウントはSFC-CNS利用内規に基づいて発行されます。また通信教育課程と外国語学校を除く慶應義塾大学の他キャンパスの学生は、サブアカウントの発行を申請できます。詳しくはITC(<http://itc.sfc.keio.ac.jp/>)の他地区学生向けページを参照してください。

### アカウントについて

個々のアカウントを認識するために、全ユーザが“ログイン名”と“パスワード”を持つこととなります。

“ログイン名”は、各ユーザに対して固有に割り振られる名前です。コンピュータを利用する際に用います。学部生のログイン名はt00000tfのように表し、はじめのアルファベットが学部、次の2桁の数字が入学年度、その後ろの3桁が学籍番号から計算された値、最後のアルファベット2文字が氏名のイニシャルとして作られています。ログイン名は転部をしない限り変わりません。教職員と大学院生は、すでに存在しているログイン名と重複しない限り、アカウント作成時に好きなログイン名を希望できます。

パスワードは、銀行のキャッシュカードの暗証番号のように、ユーザが本当にそのログイン名の持ち主であるかを確認するために用いられます。そのためパスワードは決して他人に知られてはいけません。CNSでは“CNSパスワード”、“IMAPパスワード”という2つのパスワードを用います。

### パスワードに関する注意

パスワードが他人に知られた場合、不正にログインされ自分のファイルを消去・変更されたりするだけでなく、CNSのシステム全体に対する脅威にもなります。また、悪意のある者がパスワードを盗まれたユーザの持つ権限や責任のもとに不法行為を働く恐れがあります。このような事態は不正使用された本人だけの問題ではなく、慶應義塾への不信感を招くことになりかねませんので注意してください。また、漏洩を防ぐため、パスワードを絶対に書き留めたり、人に教えたりしないでください。

他人がパスワード入力をしている時は覗き見ないのがマナーです。教職員やメディアセンターのコンサルタントなどがCNSのパスワードを尋ねるようなことは絶対にありません。おかしいと思ったときはパスワードをすぐに変更してください。また、他人がその人のアカウントで作業してほしいという理由でパスワードを教えようとしてきた場合でも断ってください。

パスワードは、推測や解析されにくいよう、英小文字、大文字、記号、数字を組み合わせてください。次に示すようなパスワードは他人に簡単に推測されてしまうので用いない

でください。

- － 推測されやすい文字配列（自分や身近な人の名前、辞書に載っている単語など）
- － 推測されやすい数字配列（誕生日、住所、地名、電話番号など）
- － 「aaa」など同じ文字を繰り返しているもの
- － 英小文字、数字だけを使っているもの

## CNS パスワード

CNS パスワードは、コンピュータにログインする時など、CNS のサービスを利用する際に広く使われます。CNS パスワードは次のルールの中でユーザが自由に設定できます。

- － 英数字と記号で構成される
- － 6 文字以上 8 文字以下で構成される
- － はじめの 6 文字に英語のアルファベットを 2 文字以上含む
- － はじめの 6 文字に数字もしくは特殊文字を 1 文字以上含む

なるべく長いパスワードが推奨されますが、CNS パスワードは 8 文字より長い部分が切り捨てられてしまうため、8 文字のパスワードが推奨されます。

## CNS パスワードの有効期限

CNS パスワードには安全のために 90 日の有効期限があります。90 日以上変更しないと無効になり、CNS パスワードを使うサービスが利用できなくなります。無効になる前にこまめに変更する必要があります。パスワード変更の手順に関しては、パスワードの変更 (p.6) を参照してください。

もし無効になってしまった場合は、ITC の CNS/ERNS サービス窓口に行き、学生証を提示すると仮のパスワードが発行されます。仮のパスワードでログインしたあとは、速やかにパスワードを変更してください。

コラム：keio.jp(共通認証システム)

CNS とは別に、慶應義塾大学生が利用できるシステムとして keio.jp(<http://keio.jp/>) があります。keio.jp は「共通認証システム」の総称で、そこにアクセスするために「慶應 ID」が使われます。

keio.jp では、Webmail やソフトウェアライセンスの取得、図書利用状況照会、認証付ストリーミングサービスなどのさまざまなサービスを利用できます。

利用にはアクティベーション（慶應 ID を取得すること）が必要です。利用ガイドページから手続きを行い、keio.jp アカウントを作成できます。

## 1.3 パスワードの変更

パスワードを盗まれてしまうと、第三者が自分に見せかけてコンピュータを悪用する可能性があります。その場合は重要なデータを編集・削除されてしまったり、メールを読まれてしまったり、迷惑メールの送信など悪意のある行為を自分の名前でされてしまう場合があります。パスワードを盗まれるなどの危険を避けるため、パスワードは定期的に変更しましょう。

### リモートログイン

パスワードの変更には、UNIX のコンピュータにリモートログインをする必要があります。リモートログインとは、主に UNIX のコンピュータに別のコンピュータからネットワーク経由でログインして、コマンドを実行できるようにすることです。

#### 1 ターミナルの起動

特別教室のコンピュータにログインします。画面下部にのアイコン群にある「ターミナル」をクリックします。



#### 2 リモートログイン

特別教室のコンピュータから遠隔のコンピュータ (たとえば ccx01) にリモートログインするには、ターミナルで次のように入力します。パスワード入力求められるので入力すると、リモートログインできます。

```
[zmac001:~] t00000tf% ssh ccx01.sfc.keio.ac.jp <ENTER>
```

はじめてそのコンピュータにリモートログインをするときは、次のメッセージが表示されます。この場合、yes と入力して Enter キーを押してください。

```
The authenticity of host 'ccx01.sfc.keio.ac.jp (133.27.5.14)' can't be established.  
RSA key fingerprint is 00:16:fa:fc:12:b6:41:45:bf:86:7e:42:b4:55:22:e9.  
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)? yes <ENTER>
```

```
Warning: Permanently added 'ccx01.sfc.keio.ac.jp,133.27.5.14' (RSA)  
to the list of known hosts.
```

### CNS パスワードの変更

CNS パスワードを変更するにはリモートログインできるサーバ (ccx01 など) にログインして、次のように yppasswd コマンドで変更してください。

新しいパスワードは、確認のため2回入力する必要があります。以下のように表示されれば、パスワードは変更されています。なお、新しいパスワードが反映されるまでには少し時間がかかります。

```
% yppasswd <ENTER>
Changing NIS account information for t00000tf on ns0.
Please enter old password: (CNS パスワード) <ENTER>
Changing NIS password for t00000tf on ns0.
Please enter new password: (新しいパスワード) <ENTER>
Please retype new password: (新しいパスワード) <ENTER>
The NIS password has been changed on ns0.
```

## IMAP パスワードの変更

IMAP パスワードは IMAP を利用して電子メールを読む際に用います。IMAP パスワードは mailsetup コマンドで設定できます。IMAP パスワードは CNS パスワードと違い、90 日に 1 回変更しなくてもアカウントが停止されることはありません。しかし安全のためには、定期的にパスワードを変更することをおすすめします。

### 1 利用言語の設定

UNIX のコンピュータ (ccx01 など) にログインし、mailsetup コマンドを実行します。利用する言語を問われますので、日本語 (j) か英語 (e) を選択します。次の実行例では日本語を選択しています。

```
% mailsetup <ENTER>
-----
[Mail environment setup: Language Setting]
-----
Please choose language
j: Japanese (EUC-JP)
e: English
q: Quit
-----
If you can't read Japanese messages described below (by "MOZIBAKE"),
you have to use English mode or set your terminal to EUC-JP mode.
-----
利用する言語を選択して下さい。
j: 日本語 (EUC-JP)
e: 英語
q: 終了
-----
Please type "j", "e" or "q" key and Enter> j <ENTER>
```

**2** CNS パスワードの入力

CNS パスワードを問われるので入力します。

-----  
 メール環境設定を行なうため、CNS のメールサーバに ssh ログインしています。  
 しばらくお待ち下さい。

次の行で、「CNS ログイン用パスワード」の入力を要求される場合があります。

-----  
 Password: (CNS パスワード)

**3** 「IMAP パスワードを設定 / 変更する」を選択

メインメニューが表示されますので、3<ENTER> と入力し、「メール送受信用 IMAP パスワードを設定 / 変更する」を選択します。

-----  
 [メール環境設定: メインメニュー]

-----  
 コマンド

1:       メール転送設定を行う  
 2:       メール受信用 APOP パスワードを設定 / 変更する  
 3:       メール送受信用 IMAP パスワードを設定 / 変更する  
 q:       終了  
 コマンドと Enter キーを入力してください > 3 <ENTER>

**4** IMAP パスワードの設定

CNS パスワードを再度入力します。CNS パスワードを正しく入力した場合、IMAP 用パスワードを設定できます。IMAP パスワードは CNS ログインパスワードとは別のものを設定します。

t00000tf の CNS ログインパスワードを入力: (CNS パスワード) <ENTER>  
 新しい IMAP パスワードを入力: (IMAP パスワード) <ENTER>  
 確認のため、もう一度新しい IMAP パスワードを入力:  
 (IMAP パスワードを再度入力) <ENTER>

**5** 設定終了

以上で、IMAP パスワードと IMAP 環境の設定は完了です。<ENTER> を入力してメインメニューに戻り、さらに q<ENTER> を入力して mailsetup コマンドを終了してください。

## 1.4 貸出サービス

メディアセンター1階 CNS コンサルタントブースでは、Windows がインストールされているノート PC、DVD ドライブおよび無線 LAN カードを貸し出しています。ノート PC は当日または1泊（翌日が CNS コンサルタントの休業日の場合は当日のみ）、その他周辺機器は当日返却で、貸出機器はキャンパス外へ持ち出せません。またメディアセンター1階 AV コンサルタントブースでは AV 機器を貸し出しています。ノート PC などとは異なり学生は最大3泊4日、教職員は7泊8日借りられます。

### ノート PC および周辺機器貸出

貸し出しと返却の受付時間は平日 9:20～22:00 です。ただし、行事などでメディアセンターの休館時間が早くなる場合、受付終了時刻が変更される場合もありますので注意してください。

貸出機器を借りる場合は、あらかじめ CNS コンサルタントブースにある借用証に書かれた規約をよく読み、守ってください。借用時および返却時には学生証（教職員の場合はキャンパスカード）の提示が必要です。提示がない場合は借用・返却手続きを行えません。また、借用、返却ともに利用する本人がブースまで直接出向いてください。代理返却や代理借用はできません。詳細は CNS コンサルタントの Web サイト (<http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/>) を参照してください。

表1.3 貸出ノートPC及び貸出周辺機器

機器	機器名	備考
貸出ノート PC	IBM ThinkPad T42	DVD-ROM、CD-ROM 読込可能 CD-R、CD-RW 書込可能
貸出 DVD ドライブ	アイ・オー・データ DVRP-iUP2	USB2.0、USB1.1 で接続可能 CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW に書込可能 CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD- ROM、DVD-R、DVD-RW を読込可能
貸出無線 LAN カード	バッファロー WLI-PCM-L11	PC カード TypeII IEEE802.11b

### AV 機器貸出

メディアセンター1階 AV コンサルタントブースでは、AV 機器の貸し出しを行っています。貸し出しと返却の受け付け時間は平日 9:15～22:30、土曜日 9:15～18:30 です。

貸し出している主な機器を表 1.4 に示します。これらの機材を使用する際に使用する三脚、マイク、ライト、各種ケーブルなども同時に貸し出しています。また、メディアセンターの AV 機器を利用するために必要なマニュアル・リモコン類も貸し出していますが、これらはメディアセンター館内でのみ利用可能で、持ち出しできません。

館内専用の機材を除き、SFC の学生は最大3泊4日借用できます（教職員は7泊8日）。

キャンパス外への持ち出しも可能ですが、借入者は責任を持って管理してください。他人への又貸しは認められていません。グループでの使用の場合、借入者が返却まで責任をもって管理してください。

AV 機器を借用する場合は、あらかじめ AV コンサルタントブースにある借用証に書かれた規約をよく読み、守ってください。貸し出しおよび返却時には学生証（教職員の場合はキャンパスカード）の提示が必要です。提示がない場合は貸し出し・返却手続きを行えません。また、借用、返却ともに利用する本人がブースまで直接出向ってください。代理返却や代理借用はできません。

AV 機器貸出についての詳細はメディアセンターの Web サイト内、AV 機器の貸し出しについてのページ (<http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/general/kisoku.html>) を参照してください。

表1.4 貸出AV機器

DV ビデオカメラ	Sony VX2000
	Sony TRV950
	Panasonic DVX100A
Hi8 ビデオカメラ	Sony TR3000
デジタルスチルカメラ	Olympus Camedia C-4040 ZOOM
	Olympus Camedia C-4100 ZOOM
	Sony Cybershot DSC-R1
DAT デッキ	TCD-D8
デジタルレコーダ	MicroTrack 24/96
その他	ビデオライト、三脚、ヘッドホンなど

## 1.5 プリンタの利用

CNSには、モノクロ印刷用とカラー印刷用の、2種類のプリンタが設置されています。どちらもA4の片面印刷が標準の設定になっていますが、カラープリンタに限り、A4・A3の片面および両面印刷ができます。それぞれの設置場所は、以下の表を参照してください。

### 設置場所

プリンタが動かないときは、用紙切れの場合と故障の場合が考えられます。プリンタに用紙がない場合は、CNS コンサルタント (内線 52519, 52555) または ITC(内線 52512) に連絡し、用紙の補充を待ってください。紙詰まりや故障の原因となりますので、持ち込みの紙を勝手に補充しないでください。また、プリンタの調子がおかしい場合も、自分で対処しようとせず CNS コンサルタントまたは ITC に連絡してください。

表1.5 CNS上のモノクロプリンタ

設置場所	プリンタ機種
o 17 特別教室	リコー CX8800
l 18 特別教室	
ε 17 特別教室	
κ 18 特別教室	
λ 18 特別教室	
ε 2階コピー室	
o 2階コピー室	
λ 11 特別教室	
新オープンエリア	
メディアセンター 1F	
メディアセンター 1F	
看護医療学部 205 教室	
看護医療学部 205 教室	
看護メディアセンター	
看護医療学部 202 教室前廊下	
看護医療学部生協横	

表1.6 CNS上のカラープリンタ

設置場所	プリンタ機種
メディアセンター 1F	富士ゼロックス DocuPrint C3540
メディアセンター 1F	
λ 11 特別教室	
λ 21 特別教室	
看護医療学部 205 教室	
看護医療学部生協横	

## 印刷料金について

CNS では、ユーザごとに印刷枚数を記録しています。この記録に基づき、年度末に年間の印刷料金が請求されます。料金は以下の表を参照してください。

カラープリンタで両面印刷した場合は、倍の料金が課金されます。カラープリンタにおいて、原稿がモノクロであってもミスプリントであっても、1枚 15 円が課金されるので注意してください。

支払い対象者は、1月にA館においてログイン名が掲示されます。該当者は、ITC 職員の指示に従ってA館で証紙を購入し、ITC 窓口で支払いを行ってください。また、期日までに超過料金を支払わない場合、アカウントが停止されることがあります。

表1.7 プリンタの印刷料金

プリンタ	印刷料金		
モノクロプリンタ	A4	1枚 5円	
カラープリンタ	A4	1枚片面 15円	左記の合計で 2500円を 超えた分について課金
		1枚両面 30円	
	A3	1枚片面 30円	
		1枚両面 60円	

## プリンタの利用通知

CNS のプリンタを使用すると、翌日に利用の通知が CNS のメールアドレス宛に届きます。例えば、2007年4月4日に nps13 でモノクロ 13 ページ、color5 で A4 カラー 1 ページ、color5 で A3 カラー 2 ページを出力した場合、以下のようなメールが 2007年4月5日に届きます。プリンタの出力について不明な点があれば、メールが届いてから 1 週間以内に CNS/ERNS サービス窓口にご直接お問い合わせください。

From: CNS-STAFF

Subject: Yesterday's CNS Printer Log

--

藤沢 太郎 様

インフォメーションテクノロジーセンターです。

このメールはプリントシステム管理プログラムにより自動送信されています。

2007-04-04 印刷分の CNS printer 利用状況をお知らせします。

nps13 (13 ページ) color5-A4 (1 ページ) color5-A3 (2 ページ)

年間総合計は、printer-acct コマンドで確認して下さい。

## 年間印刷枚数の確認

年間の印刷枚数の合計を確認するには、UNIX が動作している CNS のコンピュータにリモートログインし、printer-acct コマンドを実行します。印刷枚数は、印刷した直後ではなく翌日の午前 0 時頃に再計算されます。

以下の例では、589 枚のモノクロ印刷、11 枚の A4 カラー印刷、2 枚の A3 カラー印刷をしています。この場合の請求金額の計算方法は、モノクロ印刷が  $5 \times 589 = 2945$  円、A4 カラー印刷が  $15 \times 11 = 165$  円、A3 カラー印刷が  $30 \times 2 = 60$  円となり、その総計である合計 3170 円から 2500 円を引いた、670 円の利用料金を年度末に支払わなければならないこととなります。

```
% printer-acct <ENTER>
昨日までの CNS printer 利用合計 [t00000tf]
-----
白黒 Printer 枚数  nps1  nps3  nps4  nps8  nps12  nps13 [Total]
                   151   113   71    33   104   117 [ 589]

Color - A4 page 数  color8  color6 [Total]
(2005.09.26 ~)    7      4 [ 11]
Col-A4 以外 page 数  color8 [Total]
(2005.09.26 ~)    2 [ 2]
% _
```

## 1.6 サポート体制

CNS 全体の管理や障害の対応、ユーザのサポートなどのためにさまざまな組織が活動しています。その中には、学生によるサポート組織もあります。わからない事がある場合は、それぞれに問い合わせてください。

### CNS/ERNS サービス窓口

メディアセンター 1 階にある CNS/ERNS サービス窓口は、CNS と大学院のネットワークである ERNS の総合サービス窓口です。メーリングリストの登録やパスワードの再設定、サイトライセンスソフトウェアの利用などの各種申請を受け付けています。

機器などにトラブルが発生した場合は連絡してください。また CNS に関する要望も受け付けています。

表1.8 CNS/ERNSサービス窓口

場所	メディアセンター 1 階 北側 (CNS/ERNS サービス窓口)
電子メール	cns-request@sfc.keio.ac.jp
URL	http://itc.sfc.keio.ac.jp/
内線	52512
直通	0466 (49) 3423
CNS/ERNS サービス窓口受付時間	9:15 ~ 17:00 (土曜日・日曜日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業)

### CNS コンサルタント

CNS や個人所有 PC に関してわからないことがある場合、CNS コンサルタントに相談できます。また、ノート PC などの機器貸出サービスも CNS コンサルタントが行っています。機器貸出サービスについては貸出サービス (p.9) を参照してください。

表1.9 CNSコンサルタント

場所	メディアセンター 1 階 CNS コンサルタントブース
電子メール	cns-consultant@sfc.keio.ac.jp
URL	http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/
内線	52519,52555
直通	0466 (49) 3425
利用可能時間	月～金 9:20 ~ 22:30 (土曜日・日曜日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業 長期休業中については上記の URL を参照)

## AV コンサルタント

メディアセンターでは、DV デッキなどの AV 機器が利用できます。また、ビデオ撮影や音声のレコーディング、編集などの設備を整えた地下スタジオも設けられています。また、メディアセンター 1 階の AV コンサルタントブースでは、それらの機器に関するサポートや、AV 機器の貸出を行っています。

詳細は AV コンサルタントの Web サイト (<http://www.sfc.keio.ac.jp/mchtml/AVconsultant/>)、メディアセンター AV サービスのページ (<http://www.sfc.lib.keio.ac.jp/general/avcir.html>) を参照してください。

## DB コンサルタント

メディアセンターでは文献情報、新聞・雑誌、辞書・辞典、統計数値のデータベースから情報を検索できます。DB コンサルタントではそれらのデータベースの有効な利用方法のレクチャー、文献情報や統計データベースの利用サポートを行っています。

詳細は DB コンサルタントの Web サイト (<http://www.sfc.keio.ac.jp/mchtml/DBconsultant/>) を参照してください。

## 看護ファクトタム

看護ファクトタムは、看護医療学部コンピュータ環境やネットワーク、マルチメディアシステムの利用に関して学生のサポートを行っている団体です。コンピュータやプリンタのトラブル、マルチメディアシステムの利用方法などについての質問・相談できます。質問や相談はメールでもできますし、カウンターでも直接相談できます。カウンターでは月曜日から金曜日まで質問を受け付けていますが、カウンターにいない時間もあります。事前に Web を参照して利用時間を調べてください。

表1.10 看護ファクトタムについて

場所	看護医療学部図書館内カウンター
電子メール	fact-support@sfc.keio.ac.jp
URL	<a href="http://nmcfact.sfc.keio.ac.jp/">http://nmcfact.sfc.keio.ac.jp/</a>
内線	55250

## 1.7 サイトライセンスソフトウェア

サイトライセンスソフトウェアとは、慶應義塾またはSFCが一括して契約しており、在学している間は申請すれば個人のPCにインストールできるソフトウェアです。申請はオンライン上でできるものと、ITCでの申請書の記入とその場でのインストールが必要なものがあります。

### オンライン申請可能なソフトウェア

オンライン申請が可能なソフトウェアはITCのWebサイト (<http://itc.sfc.keio.ac.jp/>) 画面左側の、「サイトライセンスソフトウェア」から申請・ダウンロードができます。移動先のページで、「詳細/申請」のリンクをクリックしてください。なお、このページには慶應内からのみ閲覧できます。申請できるソフトウェアは、次の通りです。

表1.11 サイトライセンスソフトウェアの一覧 (2007年2月現在)

ソフトウェア名	概要	オンライン申請の可否
LabVIEW	計測プログラム開発環境	オンライン申請可
JMP	統計解析ソフト	オンライン申請可
SAS	統計解析ソフト	ITC 窓口申請
SPSS	統計解析・データマイニングソフト	ITC 窓口申請
AMOS	共分散構造分析ソフト	ITC 窓口申請
Becky! Internet Mail	メールソフト	オンライン申請可
FAME	データベース管理・分析ソフト	ITC 窓口申請

### オンライン申請

サイトライセンスソフトウェアのページに移動すると、利用できるソフトウェアの一覧が表示されます。利用したいソフトウェアの「詳細/申請」のリンクを押すと、フォームが表示されるので必要事項を記入してください。記入後、インストールプログラムがダウンロードできます。

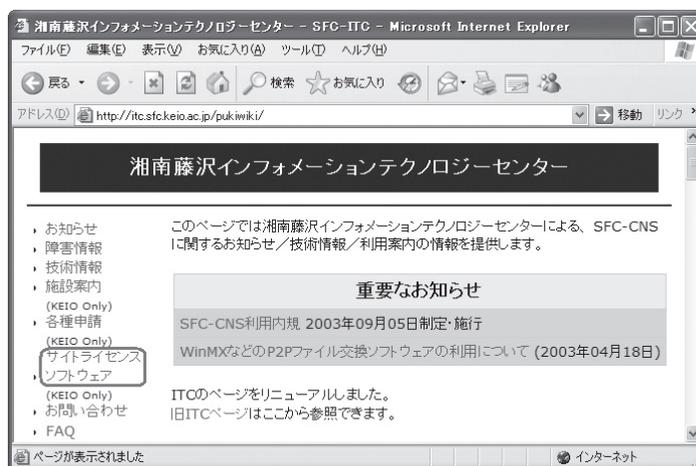


図1.1 ITCのWebサイト中サイトライセンスソフトウェア

## 1.8 利用に申請が必要なサービス

特定のネットワークサービスを CNS から使用するときには、あらかじめ申請書を提出する必要があります。申請は ITC 窓口で行います。申請書は ITC の Web サイトで取得できます。必要事項を記入したうえで、ITC 窓口へ提出してください。

表1.12 利用に申請が必要なサービス

サービス内容	説明	申請が可能な方
外部 SMTP サーバの利用	SFC 内の無線 LAN・情報コンセントに接続した個人の PC から学外の送信メールサーバ（例えば家のプロバイダのメールサーバなど）を経由してメールを送信するには申請が必要です。	学生・教職員
P2P ファイル交換ソフトウェアの利用	学内でファイル交換ソフトウェアを、研究目的で利用する際に提出が必要です。研究目的でない場合はファイル交換ソフトウェアを利用することはできません。	学生・教職員 (学生は教職員を責任者とする必要があります)
メーリングリスト	サークルや授業などで使用できるメーリングリストを作成する場合の申請です。	教職員のみ
共用作業領域の利用	CNS の共用作業領域を利用したい場合申請します。共用作業領域に置かれたコンテンツは、Web から閲覧することも可能です。	教職員のみ
遠隔会議システムの借用	遠隔会議・授業・イベントで利用出来るビデオ会議システムの貸し出しが可能です。	教職員のみ
CNS への機器の接続	CNS へ機器を接続し、ホスト名・固定 IP アドレスを取得する際に利用します。無線 LAN や情報コンセントなど、一時的に接続する場合はこの申請は必要ありません。	専任教職員のみ
サブドメインの取得	研究室などで使えるサブドメインの申請です。	専任教職員のみ
サブネットの取得	研究室などで専用のサブネットを取得する際に申請します。	専任教職員のみ

## 1.9 CNS利用に関する注意

---

CNSには6000人を超える利用者がいます。コンピュータやネットワークは利用者全員の共有資源です。以下に代表的な注意点を挙げますが、この他にも他の利用者に迷惑がかかるような行為は慎むようにしてください。

### コンピュータを利用しながら飲食をしないこと

コンピュータは精密機器であるため、ほこりや水に非常に弱く、食べ物のかすや飲み物が故障の原因になります。SFC内でパソコンが設置されている場所での飲食は禁止されています（メディアセンター内、特別教室など）。

### コンピュータを占有しないこと

コンピュータの台数には限りがあります。他の利用者の迷惑になるのでログインしたまま長時間にわたって席を離れないで下さい。

### 著作物を適切に取り扱うこと

P2Pファイル共有ソフトウェアなどを利用しての楽曲の無断公開や、アプリケーションを不正にコピーすることは、それらの作者が持つ知的財産権を侵害することになります。侵害した場合、SFC-CNS利用内規に基づきCNSの利用が取り消され、CNSにコンピューターが接続できなくなります。また、学則に基づいた処分も行われます。学術目的にP2Pファイル交換ソフトウェアを使用する場合は、事前にITCへ利用申請書を提出してください。

## 1.10 著作物の取り扱い

著作物とは、思想または感情を創作的に表現したものです。例えば文章・音楽・絵画・プログラムなどが該当します。CDやパッケージソフトウェアといった形で流通しているものだけが著作物ではありません。Web ページ上のコンテンツや、授業のレポートなども著作物であり、誰かが著作権をもっています。

### 著作権の侵害

著作権とは、「著作権をもつ人の許可しないところで、著作物が勝手に使用されたり、改変されたり、コピーされたりしないように著作物を守る権利」です。レポートを書いたり Web ページを作成したりする際、参考したり利用したりする資料は、すべて誰かが著作権を持っていることに注意しましょう。

形のないものを守る権利は、著作権だけではなく肖像権・工業所有権などもありますが、ここでは主に著作権について説明します。

次にあげる例は、著作者の許可がある場合を除いて著作権を侵害しています。

- 書籍の一部を自分で作成したかのようにレポートに使用する
- 音楽ファイルを著作者に無断でアップロードする
- 友達が購入したソフトウェアを自分のコンピュータにインストールする

### 著作者の許可がなくても正当な利用方法

一方、次のような例は著作者の許可がない場合でも正当な行為です。

- 正しく引用する
- 著作権の発生しないものを利用する
- オープンコンテンツを利用する

### 引用

他者の著作物は、引用という形をとれば許可を取らずに利用できます。引用とは、報道や批評、研究などの目的で他者の著作物の一部を転載することです。例えば、レポート中で他の文献を部分的に参照する場合などがこれにあたります。引用の際は次の条件を満たす必要があります。

- 出所と著作者名を明記すること
- 本文と引用部分が明らかに区別できること
- 著作物を引用する必然性があること
- 引用の範囲に必然性があること
- 質的量的に、引用する部分が従であり、引用先が主であること
- 引用元が公表された著作物であること

## 著作権法上の権利の目的とならない著作物

国や地方自治体、独立行政法人の発行した告示や訓令、通達などは著作権法の目的とはされていません。そのため著作権者は存在しますが、彼らの許可を得なくても利用できます。

## オープンコンテンツ

特にインターネットで流通している著作物では、ある程度の著作権を著作権者が行使せずに、著作物を共有した状態に置く場合があります。このような著作物は“オープンコンテンツ”と呼ばれ、一般的な著作物より自由に利用できます。著作物の自由な利用を許して自分の著作物が広く用いられることをよしとする著作権者が、数多くのオープンコンテンツを公開しています。これらはしばしば以下のような著作物の利用規約を用いて配布されています。

オープンコンテンツの著作物の多くは、これらの利用規約の URL が明記されているか、COPYING や COPYRIGHT、readme.txt などのファイル名で著作物に付属し、容易に利用規約を参照できるようになっています。

表1.12 オープンコンテンツの種類

利用規約の名前	閲覧できる URL
クリエイティブ・コモンズ・ライセンス	<a href="http://www.creativecommons.jp/">http://www.creativecommons.jp/</a>
GNU 一般公衆利用許諾契約書	<a href="http://www.gnu.org/licenses/gpl.ja.html">http://www.gnu.org/licenses/gpl.ja.html</a>
GNU フリー文書利用許諾契約書	<a href="http://www.gnu.org/licenses/fdl.ja.html">http://www.gnu.org/licenses/fdl.ja.html</a>

これらのオープンコンテンツの著作物を利用する際は、利用規約をよく読んで有効に活用しましょう。また、自分が作成した Web ページやレポートなどの著作物を広く利用してもらいたい場合は、これらの利用規約を適用するのもよい方法です。

## P2P ファイル交換ソフトウェア利用上の注意

現在、WinMX、Winny、Gnutella などの P2P ファイル交換ソフトウェアを通じた、音楽・映像ファイルやソフトウェアの不正な交換が社会問題となっています。P2P ファイル交換ソフトウェアを利用すること自体は違法ではありませんが、これを用いて不正なコピーを行う著作権侵害行為が増加し、問題になっています。

これを受け、慶應義塾 ITC 本部は“P2P ファイル交換ソフトウェアの利用について” (<http://www.hq.itc.keio.ac.jp/P2P/>) という規則を、全塾のネットワークに適用しています。P2P ファイル交換ソフトウェアは、慶應義塾では事前申請を行わないと利用できません。CNS で P2P ファイル交換ソフトウェアを利用する場合は必ず ITC へ利用申請書を提出してください。教育・研究目的に限って利用が許可されます。

以下に、利用申請が必要な P2P ファイル交換ソフトウェアは ITC 本部の発表するリスト (<http://www.hq.itc.keio.ac.jp/P2P/list.html>) を参照してください。

# ノート PC の利用

---

## 2.1 ノート PC 利用上の注意

---

このキャンパスでは、多くの人が個人所有のノート PC を学校に持ち込み、授業やグループワークなどで活用しています。大教室では、ノート PC で講義のメモをとっている様子もよく見かけられます。

### キャンパス内でのノート PC

このキャンパスでは、学内に設置されている PC だけでなく、個人所有のノート PC でも便利に学生生活をすごせるよう、さまざまな設備が整っています。無線 LAN を備えたノート PC であれば、学内のほぼ全域で、無線 LAN を利用してインターネットに接続できます。有線 LAN の情報コンセントを備えた教室であれば、有線 LAN を利用してもインターネットに接続できます。

また、キャンパスに所属する人全員にメールアドレスが割り当てられており、ノート PC を利用してメールの送受信ができます。インターネットに接続されていれば、学内からでも学外からでも同様にメールを利用できます。

ノート PC から直接、キャンパスに設置されたプリンタで印刷できます。このサービスは 2007 年度より開始されました。

### ノート PC 利用上の注意

学内に設置されている PC とは違い、自分のノート PC は各々が管理しなくてはなりません。例えばコンピュータウイルスに感染しないよう、常日頃から気をつける必要があります。また、利用している OS やソフトウェアについても、セキュリティ上の危険性がないか、最新の情報に注意してください。

また学内に設置されている PC のトラブルは ITC などが対処しますが、自分のノート PC に起きたトラブルは自分で対処するのが原則です。CNS コンサルタントや CNS/ERNS サービス窓口、先輩、書籍などの助けを得ながら、トラブルを自分で解決できるようになりましょう。

## 2.2 キャンパス内でのインターネット接続

キャンパス内からネットワークに接続する方法には、有線LAN接続と無線LAN接続の2種類があります。

### 有線 LAN と無線 LAN

LAN ケーブルを介し、随所に設置されている情報コンセントと個人所有のコンピュータを接続することで、ネットワークに接続するのが有線 LAN による接続方法です。情報コンセントは κ 11、メディアセンター 1 階、新オープンエリアなどに多く用意されています。また、κ 23 などのフリーアクセス化された教室では座席数だけ床に埋め込まれています。

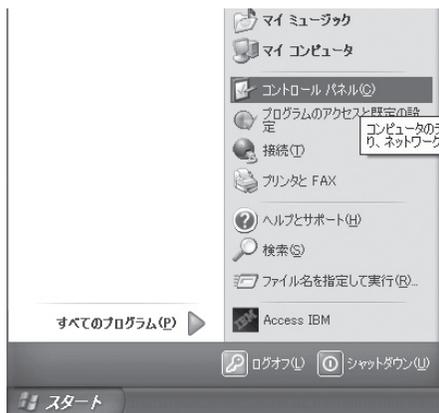
電波を用いてネットワーク接続を行うシステムの総称を無線 LAN といいます。SFC キャンパス内では、無線 LAN の標準規格である IEEE802.11a/b/g のいずれかを利用した接続が行われます。キャンパスのほぼ全体で利用できますが、壁を隔てた場所や屋外などの電波が届きにくい場所では利用できないこともあります。無線 LAN でネットワークへ接続するためには、無線 LAN 機能が内蔵されたコンピュータを利用するか、内蔵されていないコンピュータに生協などで販売されている無線 LAN カードを付加して使用します。

### Windows での無線 LAN 接続

ここでは、Windows XP 標準の無線 LAN 接続方法 (Wireless Zero Configuration) を説明します。ただし、使用しているノート PC や無線 LAN カードによってはメーカー独自の接続用ソフトウェア (Lenovo ThinkVantage Access Connections、Buffalo クライアントマネージャなど) が付属している場合があります。その場合はこの方法では設定できないため、各接続用ソフトウェアの説明書を参照して設定をしてください。

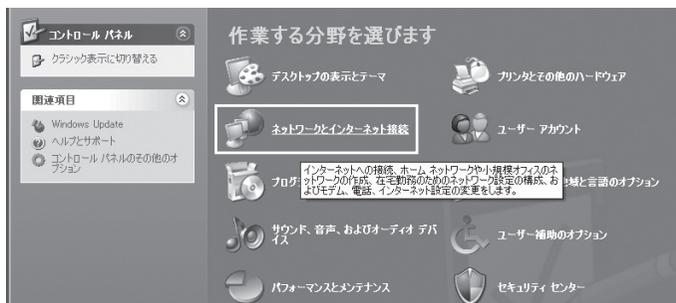
#### 1 コントロールパネルの表示

画面右下の「スタート」ボタンを押して表示されるメニューの中から「コントロールパネル」を選びます。



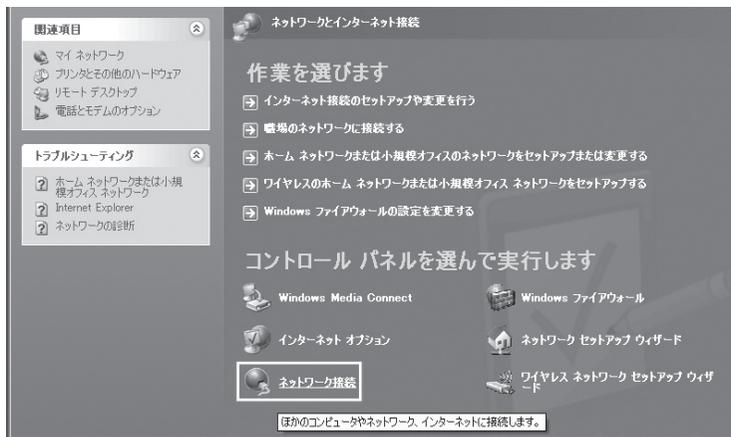
## 2 ネットワークとインターネット接続の表示

表示されたウィンドウ中の「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



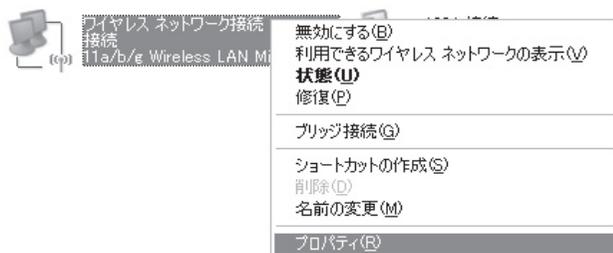
## 3 ネットワーク接続の表示

表示されたものの中から「ネットワーク接続」をクリックします。



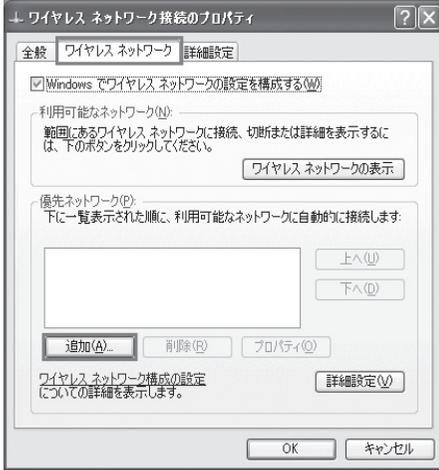
## 4 ワイヤレスネットワークのプロパティの表示

表示されたウィンドウにあるワイヤレスネットワーク接続と書かれたアイコンの上で右クリックをします。表示されたメニューの中からプロパティを選びます。



5 ワイヤレスネットワークの追加

「ワイヤレス ネットワーク」と書かれたタブをクリックします。クリックしたら「追加」ボタンを押します。この画面で「Windows でワイヤレス ネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていない場合、メーカー独自の接続ソフトウェアが入っている可能性があります。



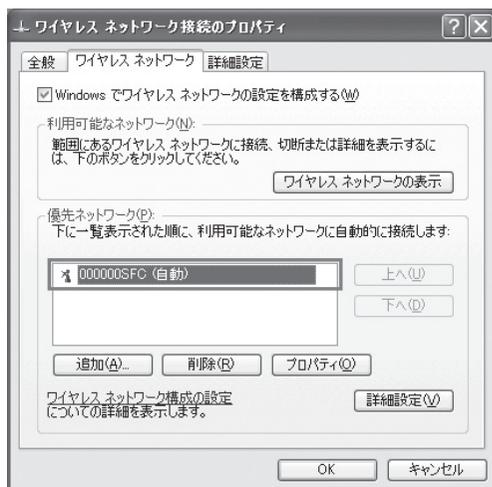
6 ネットワーク名と認証方式の設定

「ネットワーク名 (SSID)」に「000000SFC」を入力します。次に「ネットワーク認証」が「オープン システム」になっているのを確認します。最後に「データの暗号化」を「無効」に変更してから「OK」ボタンを押します。



**7** ワイヤレスネットワークが追加されたことを確認

一覧に「000000SFC」が追加されていることを確認します。OK を押すと設定を終了し、無線 LAN への接続が始まります。

**8** 設定終了

しばらくすると無線 LAN への接続成否が画面右下に出現されます。「ワイヤレス ネットワーク接続に接続しました」と表示されれば、設定は終了です。



## Macintosh での無線設定

Macintosh コンピュータを初めて CNS に無線接続するときには、無線の設定をする必要があります。

### 1 システム環境設定を表示

「アップルメニュー」から「システム環境設定」を選びます。表示されるウィンドウの中にある「ネットワーク」をクリックします。



### 2 AirMac の接続

AirMac を選び、「接続」ボタンを押します。



### 3 接続するネットワークの選択

設定メニューが表示されます。その中にある「ネットワーク」の欄をクリックし、「その他」を選びます。



### 4 AirMac ネットワークの設定

AirMac ネットワークの設定が表示されます。ネットワーク名を「000000SFC」に、ワイヤレスセキュリティを「なし」に設定します。ネットワーク名の SFC は必ず大文字にしてください。



### 5 設定終了

「OK」ボタンを押してしばらく待つと、「状況」欄に「"000000SFC" に接続」と表示されます。これで設定は終了です。

## 2.3 Web ページの閲覧

Web ページを閲覧するには、「Web ブラウザ」というソフトウェアを利用します。Web ブラウザには Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera、Safari などがあります。Windows には標準で Internet Explorer が付属し、Mac OS X には Safari が付属しています。

### Windows での Web ページ閲覧

Windows で使用できる Web ブラウザには、Microsoft Internet Explorer、Mozilla Firefox、Opera 等があります。ここでは、Windows に標準搭載されている Internet Explorer を使った Web ページの閲覧について説明します。

#### 1 Internet Explorer の起動

Internet Explorer は、画面左下の「スタート」をクリックし、表示されるメニューの「インターネット」選ぶと起動できます。



#### 2 Web ページの表示

Internet Explorer を起動すると、下図のようなウインドウが表示されます。「アドレス」と書かれた欄に表示したい Web ページのアドレスを入力します。次に「移動」と書かれたボタンをクリックすると、そのページが表示されます



## Macintosh での Web ページ閲覧

Macintosh で Web ページを閲覧するには、主に Safari、Firefox、Opera 等といった Web ブラウザを使います。ここでは、Safari という Web ブラウザを使用して作業を行います。

### 1 Safari の起動

画面下部の Dock にあるアイコンをクリックします。



### 2 Web ページの表示

アドレス入力欄に Web ページのアドレスを入力して Enter キーを押すと表示されます。



## 2.4 メールを利用するための準備

ノート PC でメールを読むためにはメーラー、もしくはメールクライアントと呼ばれるソフトウェアを利用します。ここでは Mozilla Thunderbird というソフトウェアを使ってメールを読むために必要な初期設定について説明します。

### Thunderbird のダウンロード

#### 1 Web サイトの表示

Web ブラウザを起動して、Thunderbird の Web サイト (<http://www.mozilla-japan.org/products/thunderbird/>) を表示します。

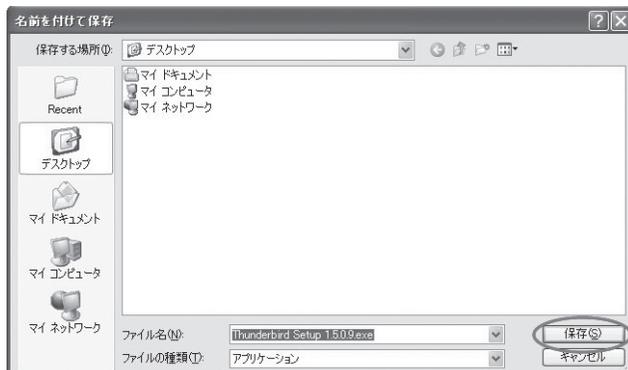
#### 2 インストールプログラムの保存

「無料ダウンロード」と書かれた部分をクリックします。右のようなウィンドウが表示されるので、「保存」ボタンを押してください。



#### 3 保存場所の指定

インストールプログラムをデスクトップに保存します。



**4** ダウンロードの完了

ダウンロードが終わると以下のようなウィンドウが表示されます。「閉じる」と書かれたボタンを押してください。



## Thunderbird のインストール (Windows の場合)

ここでは Windows における、Thunderbird のインストールの仕方をご紹介します。

**1** ダウンロードした Setup ファイルを起動

ダウンロードした Setup ファイルを起動してください。以下のようなウィンドウが表示されるので、「次へ」を選んでください。

**2** 使用許諾への同意

「使用許諾書に同意する」にチェックをつけて、「次へ」を選んでください。

**3** セットアップの種類を決定

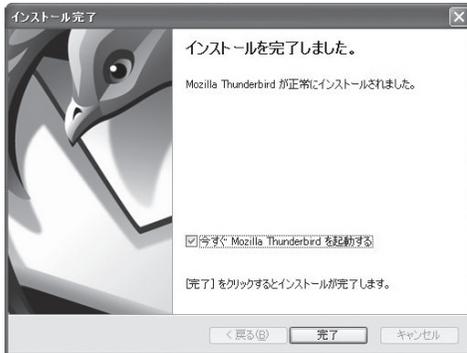
「標準」にチェックがついていることを確認して、「次へ」を選んでください。

**4** コンポーネントの選択

「次へ」ボタンを押すと、インストールが始まります。

**5** インストールの完了

以下のようなウィンドウが表示されるとインストールは完了です。インストールが完了したら、ダウンロードした Setup ファイルは削除して構いません。



## Thunderbird のインストール (Macintosh の場合)

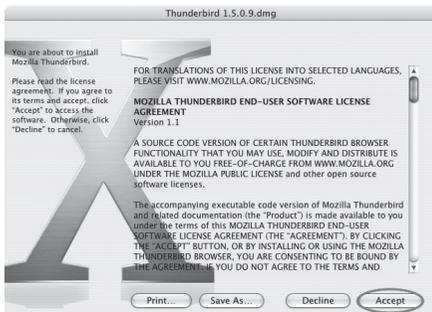
ここでは、Macintosh における Thunderbird のインストールの仕方をご紹介します。

**1** dmg ファイルの実行

ダウンロードした dmg ファイルをダブルクリックします。

**2** 利用条件の確認

このソフトウェアを利用するための条件が表示されます。目を通した後に「Accept」と書かれたボタンを押してください



#### 4 アプリケーションフォルダへのコピー

表示されたウィンドウ中の Thunderbird アイコンをアプリケーションフォルダへコピーしてください。ドラッグ & ドロップすることでコピーできます。



#### 5 dmg ファイルの削除

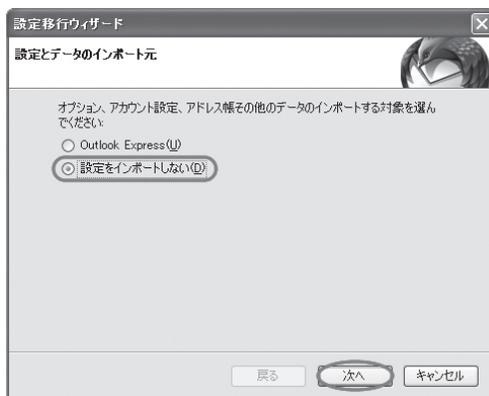
アプリケーションフォルダに Thunderbird アイコンが作成されたらインストールは完了です。ダウンロードした dmg ファイルを削除しましょう。

## Thunderbird のアカウント設定

はじめて Thunderbird を起動する場合、受信するメールアカウントの設定をするよう促されます。

#### 1 設定とデータのインポート

以下のようなウィンドウが表示されたら、「設定をインポートしない」を選んで、「次へ」ボタンを押してください。



**2** アカウントの種類を決定

「アカウントの種類」では、「メールアカウント」を選択し、次へ進みます。

メッセージを受信するにはアカウントの設定をする必要があります。  
このウィザードではメールやニュースグループのアカウント設定に必要な情報を入力します。入力する情報が分からない場合はシステムの管理者またはインターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。  
設定するアカウントの種類を選択してください。

メールアカウント(M)

RSS ニュースとブログ

ニュースグループアカウント(N)

**3** 差出人情報の入力

自分の名前と自分のメールアドレスを入力し、次へ進みます。

メッセージの差出人を表す情報を入力してください。これはアカウントごとに別のものを設定して使い分けることができます。

あなたの名前を入力してください。この名前は送信メッセージの [差出人] (From) に表示されます。(例: 山田 太郎)

あなたの名前(N):

このアカウントで使用するメールアドレスを入力してください。(例: "user@example.jp")

メールアドレス(E):

**4** サーバ情報の入力

「サーバ情報」では、はじめにサーバの種類から「IMAP」を選択して、受信サーバに「imap.sfc.keio.ac.jp」、送信サーバに「smtp.sfc.keio.ac.jp」と入力し、次へ進みます。

メール受信サーバの種類を選択してください。

POP(P)  IMAP(I)

メール受信サーバの名前を入力してください。(例: mail.example.jp)

メール受信サーバ(S):

メール送信 (SMTP) サーバの名前を入力してください。(例: smtp.example.jp)

メール送信サーバ(O):

**5 ユーザ ID の入力**

「ユーザ ID」には、どちらも自分の CNS アカウント名を入力し、次へ進みます。

ユーザ ID	
メールのプロバイダに指定された受信ユーザ ID を入力してください。(例: ytaro)	
受信ユーザ ID (R):	<input type="text" value="t00000tf"/>
メールのプロバイダに指定された送信ユーザ ID を入力してください。多くの場合これは受信ユーザ ID と同じです。	
送信ユーザ ID (Q):	<input type="text" value="t00000tf"/>

**6 メールボックスの名前を入力**

「アカウント名」には、好きな名前を付けて、次へ進みます。

アカウント名	
このアカウントに分かりやすい名前を付けてください。(例: 仕事用、プライベート、ニュース)	
アカウント名 (A):	<input type="text" value="SFC-CNS"/>

**7 ここまでの設定の確認**

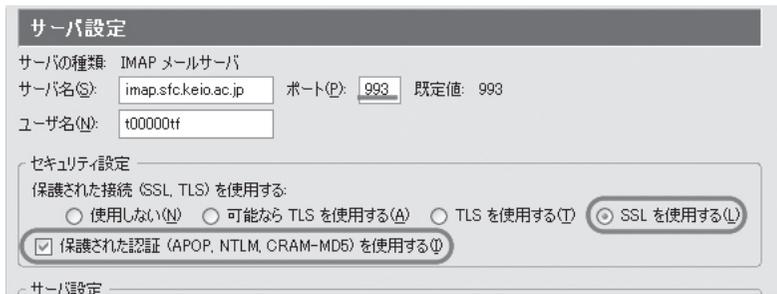
最後に、ここまでの設定を確認し、「完了」ボタンを押します。

**8 アカウント設定を表示**

ここまで設定を終えると、Thunderbird のメイン画面が表示されます。ただし、もういくつかアカウント設定を調整しないと、メールが受信できるようになりません。メニューの「ツール」－「アカウント設定」から、アカウントの詳細を編集します。

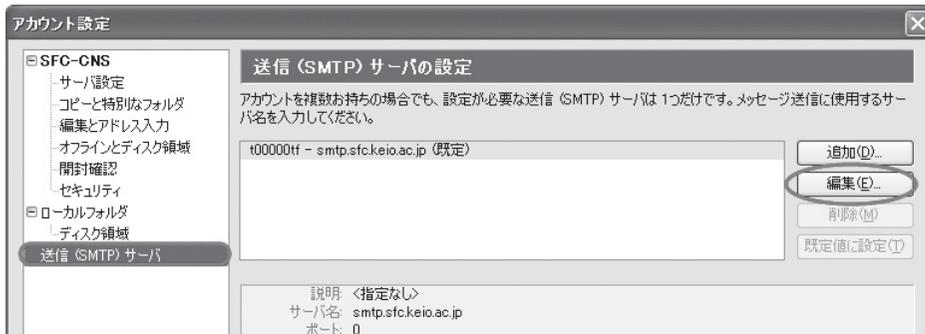
## 9 サーバ設定の変更 (IMAP サーバ)

作成したメールボックスの「サーバ設定」から、「セキュリティ設定」にて「SSLを使用する」を選択します。「保護された認証を使用する」にチェックをつけます。ポート番号が993になっていることを確認します。



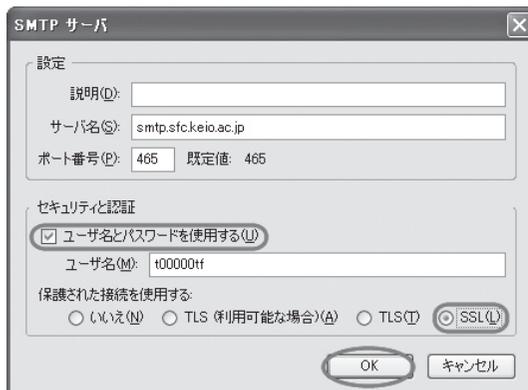
## 10 サーバ設定の変更 (SMTP サーバ)

次に、左の項目から「送信 (SMTP) サーバ」を選び、「編集」ボタンをクリックします。



## 11 サーバ設定の変更 (SMTP サーバ)

送信 (SMTP) サーバでは、「ユーザ名とパスワードを使用する」にチェックをつけ、「保護された接続をする」では「SSL」を選択します。



## 2.5 メールの送受信

Thunderbird でメールを受信・送信する方法について説明します。

### メールの受信

Thunderbird のツールバーにある「受信」ボタンを押すと、サーバに蓄積されているメール一覧が表示されます。パスワードを尋ねられたら、IMAP 用のメールパスワードを入力してください。認証に成功すると、メールを受信することができます。

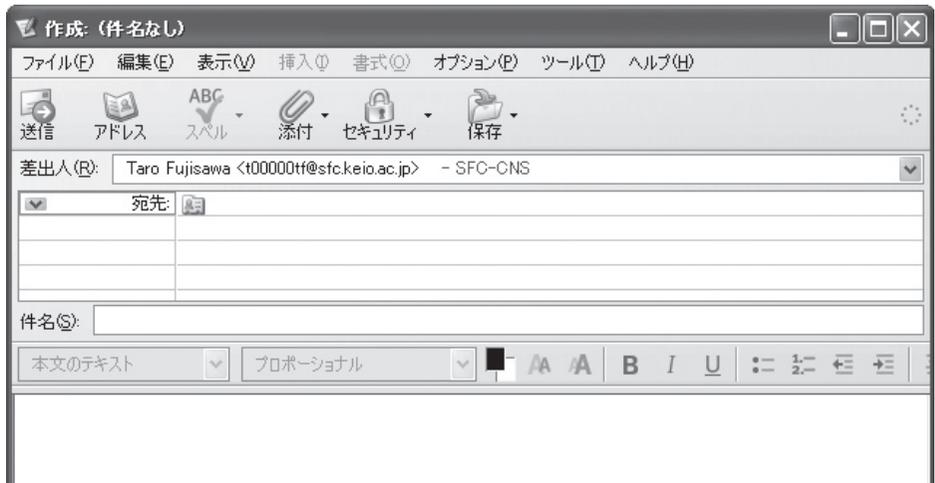


図2.1 Thunderbirdのツールバー

### メールの送信

#### 1 メール作成画面の表示

ツールバーにある「作成」ボタンを押すと、メールの新規作成画面が別のウィンドウに表示されます。宛先、件名、本文などを入力してメールを作成します。「送信」ボタンを押すと、そのメールが送信されます。



#### 2 宛先の入力

宛先と書かれた部分に宛先のメールアドレスを入力します。左にある四角いボタンを押すと、'To' や 'Cc'、'Bcc' などを選択できます。

### 3 件名の記入

「件名」の欄にはメールの件名を記入します。携帯電話では記入しないことも多くありますが、PC で利用されるメールでは記入することが一般的です。件名はメールの内容をよく表したものが望ましいとされています。

### 4 本文の記入

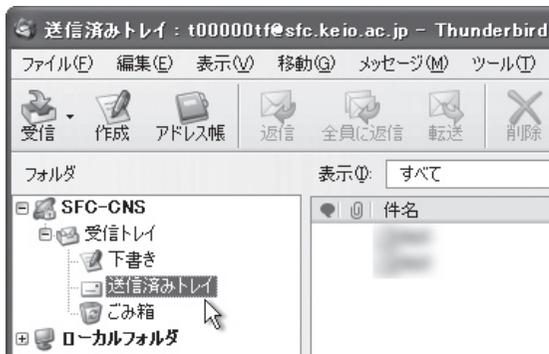
メール作成画面の下部に本文を入力します。送られる文字数に制限はありませんが、利用できる文字には制限があります。ローマ数字、丸囲い数字、「ドル」いった文字は相手のメーラが表示できない可能性が大いにありますから使わないほうがよいでしょう。また携帯電話のメールとは異なり、本文中に自分の名前を書くことが一般的です。

### 5 送信

「送信」ボタンを押すとメールが送信されます。

### 6 送信済みフォルダ

送信したメールは送信済みフォルダに保存されます。直前に送信したメールだけでなく、今までに送信したメールが保存されています。



## 2.6 セキュリティアップデート

近年、ウイルスや悪意のあるプログラムによる被害がニュースや新聞でも取り上げられるようになってきました。そのような悪意のあるプログラムからコンピュータを守るための方法の1つに、セキュリティアップデートがあります。ここでは、Windows と Mac OS X におけるセキュリティアップデートの方法について説明します。

### アップデートの意義

アップデートとは、ソフトウェアが発売された後に見つかった欠陥等に対する修正や、状況に合わせた機能の向上を行う作業です。各 OS 用の更新プログラムが毎月公開され、不具合への対応が行われています。不具合の例としては以下のものがあげられます。

- ーソフトウェアが動かない
- ーソフトウェアが期待していない動きをする
- ーファイルが破損・消滅する

ソフトウェアの不具合のうち、第三者が悪用しうるものをセキュリティホールといいます。セキュリティホールが存在したまま放置すると、コンピュータウイルスの感染源となったり、攻撃を受けたりすることがあります。

セキュリティホールが見つかった場合、通常は OS やアプリケーションの製造元や開発元から対策プログラムが公開されます。また、セキュリティホール対策を行った新しいバージョンのアプリケーションが公開されることもあります。

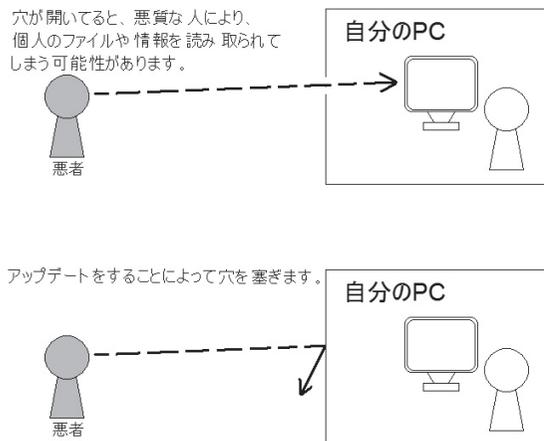


図2.2 セキュリティホール

各 OS は更新プログラムの有無の確認し、必要であればダウンロードしインストールする機能が備わっています。また手動でアップデートすることもできます。キャンパス内で行う場合は有線 LAN を利用したほうが確実です。

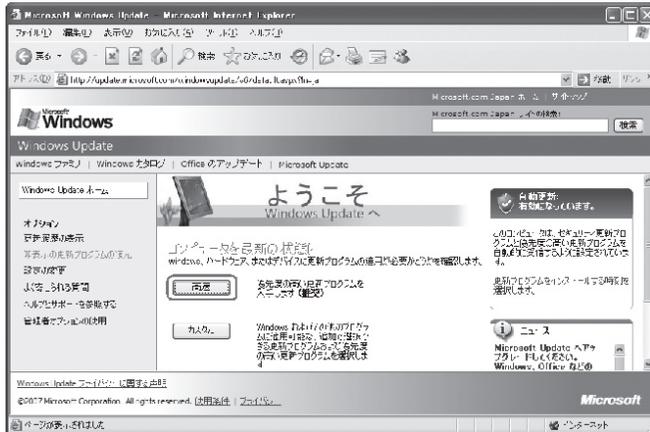
OS やアプリケーションの不具合に関する情報をこまめにチェックして、既知の不具合ができるだけ修正された状態を保ちましょう。

## Windows Update

Windows Update は、Microsoft 社の Windows Update の Web ページにアクセスして行います。Windows Update を行う際には、実行する前に Internet Explorer を除いたすべてのプログラムを終了してください。また、インターネットに接続した状態で行ってください。

### 1 更新画面の表示

「スタート」ボタンを押して表示されるメニューから「すべてのプログラム」を選びます。その中にある「Windows Update」を選択すると更新画面が表示されます。



### 2 Windows Update ソフトウェアのインストール

初めて Windows Update を行う場合や、時期によっては Windows Update ソフトウェアのインストールが要求される場合があります。その場合は「インストールする」ボタンを押してインストール作業を行ってください。



利用上の注意

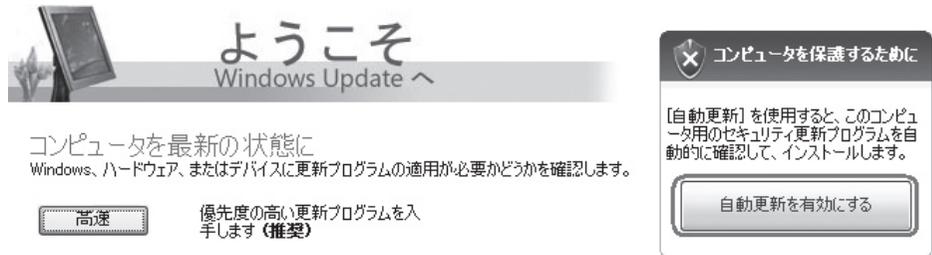
接続  
インターネットWeb ページ  
閲覧メールを利用す  
る準備

メールの送受信

対策  
セキュリティソフト  
アンチウイルス

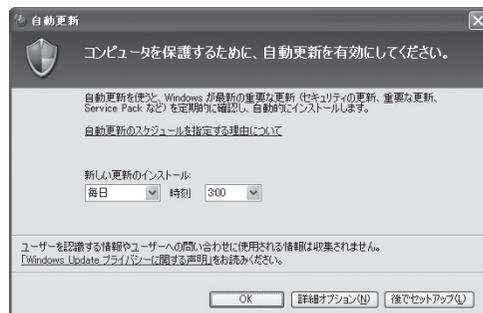
### 3 自動更新を有効にする

自動更新を有効にしておくことで、更新プログラムの有無が自動的に確認されインストールされるようになります。画面右側に「自動更新を有効にする」と書かれたボタンを押すと、自動更新が有効になります。ボタンが表示されていない場合は、すでに有効になっています。



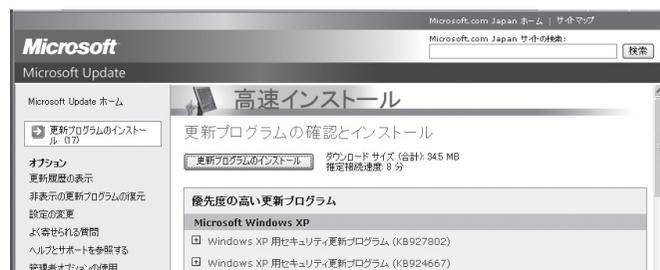
### 4 更新時刻の設定

「自動更新を有効にする」ボタンを押すと、自動更新を行う曜日と時刻を設定するよう求められます。曜日と時刻を選び「OK」ボタンを押します。



### 5 更新プログラムのインストール

「高速」と書かれたボタンを押すと、「このコンピュータに該当する最新の更新プログラムを確認しています」と表示されます。しばらくすると下のようなページが表示されるので、「更新プログラムのインストール」ボタンを押します。「更新をインストールしています」と表示されるので、インストールが終わるまで待ちます。



## 6 Windows Update の終了

「お使いのコンピュータは正しく更新されました」と表示されればインストールは完了です。右下の「今すぐ再起動」ボタンを押し、コンピュータを再起動します。再起動を要求されなかった場合は、「閉じる」ボタンを押してください。

## Macintosh のソフトウェア・アップデート

ソフトウェア・アップデートを行うには、Apple 社の Web ページから更新をダウンロードしインストールする方法と、「システム環境設定」の「ソフトウェア・アップデート」を用いて更新プログラムをインストールする方法の 2 つがあります。どちらもインターネットに接続した状態で行ってください。

### 1 アップデート画面の表示

画面左上のアップルメニューから「ソフトウェア・アップデート」を選択します。ソフトウェアの更新が確認され、更新があればその一覧が表示されます。ソフトウェア・アップデート以外にもソフトウェアの更新があれば表示されます。



### 2 更新プログラムのインストール

右下の「項目をインストール」を押します。パスワードを聞かれた場合は、パスワードを入力してください。使用許諾契約が表示されるので「同意します」を選びます。インストールが開始され、終わると再起動を求められるので、「再起動」を押しコンピュータを再起動します。

### 3 自動更新

なお、ソフトウェア・アップデートは特に設定を行わなくても定期的に自動で更新を確認します。自動更新の設定は「システム環境設定」から確認できます。

## 2.7 アンチウイルスソフトウェアのインストール

ネットワークに接続されたコンピュータには、コンピュータウイルスなどの悪意のあるプログラムに感染する危険があります。ウイルスには直接侵入してくるものからメールに添付されてくるもの、Web ページを閲覧すると感染してしまうものなど、さまざまな侵入形態があります。

### アンチウイルスソフトウェア

コンピュータウイルスに感染すると、次のような被害にあう場合があります。被害拡大の防止のために、CNS ではウイルスに感染していると思われるコンピュータのネットワークへの接続が制限されることがあります。

- コンピュータ内の情報がいつの間にか流出している
- ウイルスが添付されたメールが知らないうちに送信されている
- 気付かないうちに他人のコンピュータを攻撃している

コンピュータウイルスによる被害を最小限にするためには、セキュリティアップデート (p. 40) と併せて、アンチウイルス ソフトウェアがインストールされていることが望ましいとされます。アンチウイルスソフトウェアとはコンピュータウイルスを見つけだし、それを除去するソフトウェアです。著名なものを次にあげます。

- Norton Antivirus および Norton Internet Security (シマンテック社)
- ウイルスバスター トレンドフレックスセキュリティ (トレンドマイクロ社)
- インターネットセキュリティスイート (マカフィー社)
- NOD32 アンチウイルス (キャノンシステムソリューションズ社)

### ウイルスバスターの利用申請とダウンロード

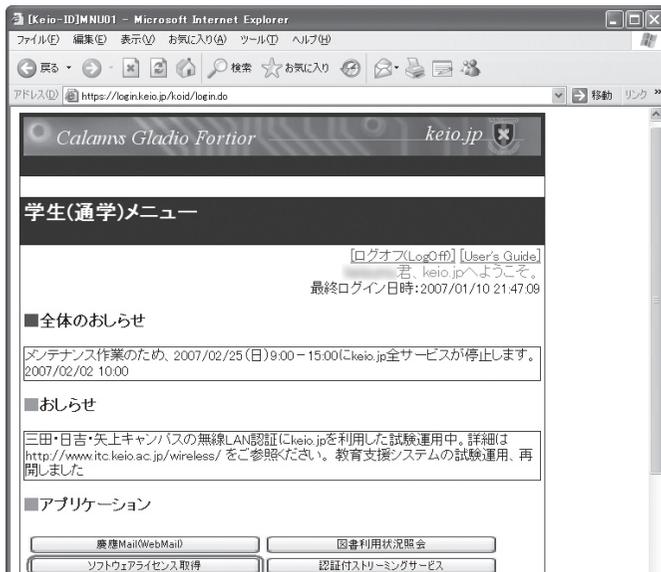
慶應義塾大学では申請をすることで、アンチウイルスソフトウェアを1人につきコンピュータ1台分使用できます。ここではウイルスバスターレンタル版のインストール方法を説明します。これはWindowsでのみ利用できます。この作業をするためには keio.jp のアカウントを取得する必要があります。アカウントをまだ取得していない場合は、利用ガイドのページからアクティベート作業を行ってください。

#### 1 体験版の削除

1台のコンピュータに複数のアンチウイルスソフトウェアをインストールされていると正しく動作しない場合があります。アンチウイルスソフトウェアの体験版がインストールされている場合があり、その場合はそれ削除しておく必要があります。削除は「スタート」ボタンを押して表示されるメニューの「コントロール パネル」から「プログラムの追加と削除」選ぶことで行えます。

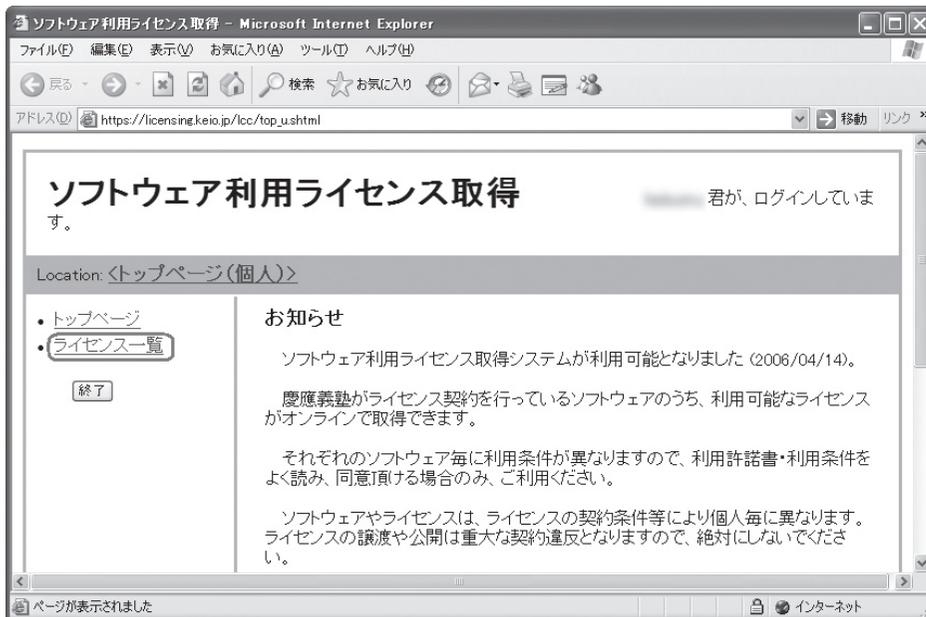
## 2 keio.jp へのログイン

Web ブラウザを起動して keio.jp(<http://keio.jp/>) を表示します。Keio ID とパスワードを入力してログインします。ログインしたら、「ソフトウェアライセンス取得」ボタンを押してください。



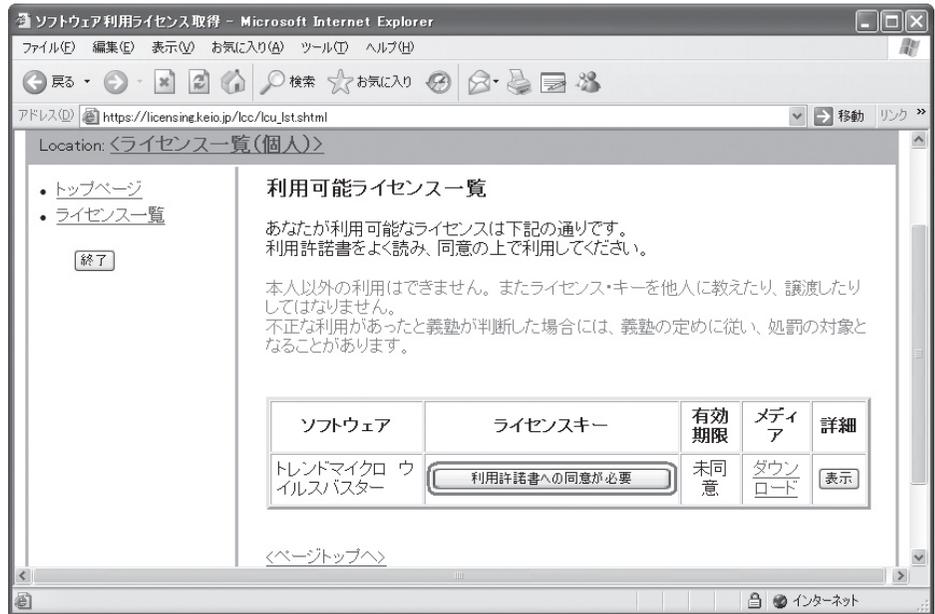
## 3 ライセンス一覧の表示

新しいウィンドウで下のようなページが表示されます。左側の「ライセンス一覧」をクリックしてください。



#### 4 利用許諾書の表示

すると、「利用可能ライセンスの一覧」と表示されます。「トレンドマイクロ ウイルスバスター」の隣にある「利用許諾書への同意が必要」ボタンを押してください。

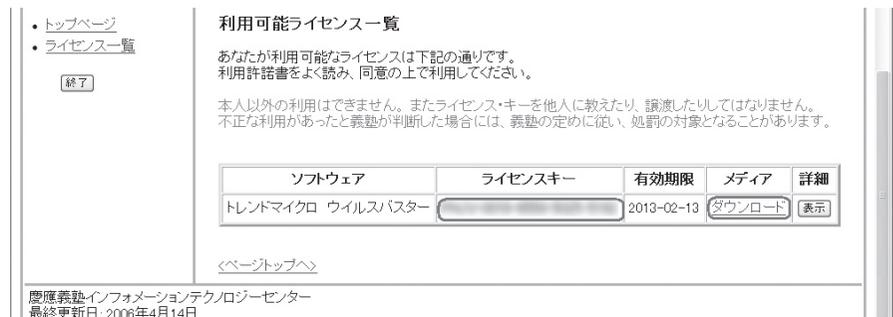


#### 5 利用条件への同意

ソフトウェアの利用条件が表示されます。利用条件のすべての内容を確認してください。内容に同意できない場合は、このソフトウェアを利用できません。同意できる場合は、ページ下部の「同意する」ボタンを押してください。

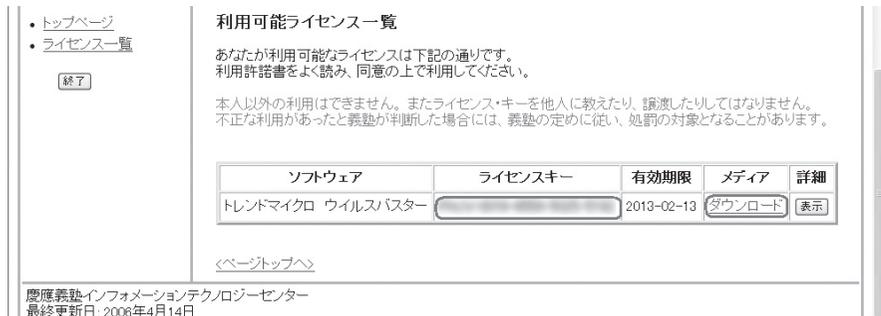
#### 6 ライセンスキーの取得

利用条件に同意したら「ライセンス情報を登録しました」と表示されます。「戻る」ボタンを押してください。ライセンスの一覧に戻ると、先ほどはボタンになっていた場所に英語と数字で20桁の文字列が表示されます。この「ライセンスキー」はソフトウェアのインストール時に必要です。メモしておいて下さい。



## 7 インストールプログラムのダウンロードページを表示

ライセンスキーの右側にある「ダウンロード」を押してください。新しいウィンドウでトレンドマイクロ社によるダウンロードページが表示されます。ページ下部の「ダウンロード」を押してください。続いて表示される使用許諾契約も、ページ下部の「使用許諾契約に同意する」を押すことで先に進めます。



## 8 インストールプログラムのダウンロード

ダウンロードのページが表示されます。ページにはインストール方法がいくつかのステップに分けて説明されています。ステップ2にあるリンクをクリックする、ウイルスバスターがダウンロードできます。デスクトップにダウンロードしてください。



## 9 動作中のプログラムの終了

インストール中に他のプログラムが動いていると、インストールが失敗する場合があります。ダウンロードに利用した Web ブラウザも含め、動作中のプログラムをすべて終了させます。

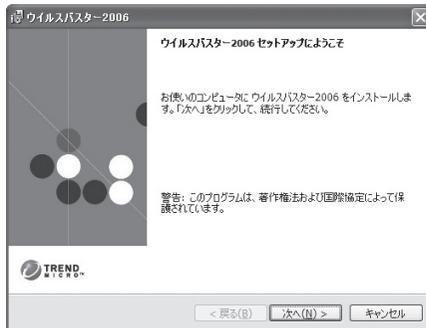
## 10 インストールプログラムの実行

デスクトップにダウンロードしたインストールプログラムを実行します。警告が表示される場合がありますが、「実行」を押してください。下のような画面が表示されます。「次へ」と書かれたボタンを押してください。



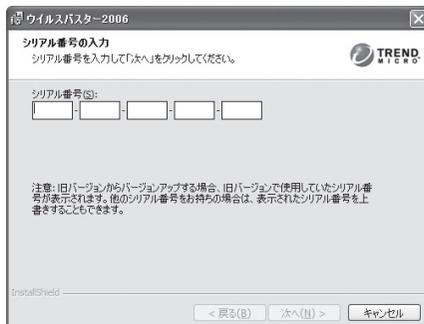
## 11 セットアップの開始

展開が完了するとメニューが表示されるので、「ウイルスバスター 2006 のインストール」を押します。下のような画面が表示されるので、「次へ」を押してください。



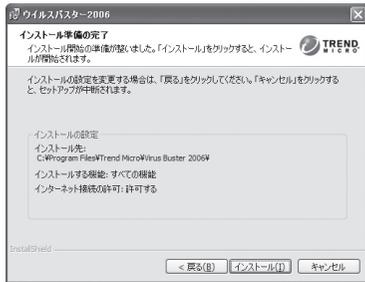
## 12 使用許諾契約書への同意とライセンスキーの入力

使用許諾契約書は、申請の際に表示されていたものです。「使用許諾契約書の条項に同意します」を選んでから、「次へ」を押してください。次にシリアル番号の入力を求められます。先ほどメモしたライセンスキーを入力し、「次へ」を押してください。

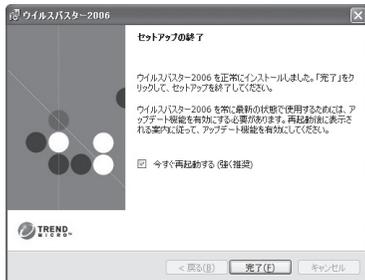


**13** 指示に従いインストールを行う

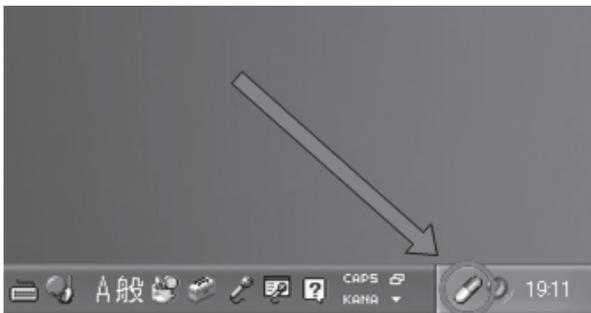
以降はインストール終了まで設定を変更する必要はありません。何度か設定の確認を求められますが、すべて「次へ」もしくは「はい」と書かれたボタンを押します。「インストール」と書かれたボタンを押すとインストールが始まります。

**14** インストールの完了と Windows の再起動

インストール終了後、下のような画面が表示されます。「今すぐ再起動する」にチェックを入れ、「完了」ボタンを押すとインストールは完了です。インストール後は Windows が再起動します。

**15** ウィルスバスターのメイン画面を表示

ユーザ登録をしないとウィルスバスターの全機能を使うことができません。感染の危険性を考慮すると登録したほうがよいでしょう。ユーザ登録はメイン画面から行います。メイン画面は画面右下、時計などのそばにあるウィルスバスターのアイコンをダブルクリックすると表示されます。



## 16 登録画面の表示

メイン画面右下の「登録する」ボタンを押してください。ユーザ登録画面が表示されます。



## 17 ユーザ登録

画面の指示に従ってオンラインユーザ登録を行います。登録が完了するとメイン画面の「オンラインユーザ登録」の隣に日付が表示されます。これでインストールは終了です。

## SFCに関するWebサイト

## 3.1 SFCに関するニュースを見る

SFC 内で行っているイベントや授業関連のお知らせ、その他塾生が知っておくと便利な情報が、SFC のウェブサイトに掲載されています。

SFC に関するニュースは SFC のオフィシャル Web サイト (<http://www.sfc.keio.ac.jp/>) で見るができます。このサイトは見る人の立場に応じてページが分けられています。学生向けの一般的なお知らせを見るには、「在学生の方へ」へ進みます。トップページの「NEWS」という項目内がお知らせになります。



図3.1 SFCオフィシャルWebサイト

この Web サイトではニュース以外にも、おかしら日記、卒業生の活躍なども随時更新されます。それぞれの内容については表 3.1 を参照してください。また、ページの左側のメニューからは学事日程や時間割などの情報を見ることもできます。

表3.1 SFCオフィシャルWebサイト内のコラム

コーナー名	内容
研究の現場	研究会の教員・学生の様子を掲載しています
おかしら日記	SFC の 3 学部長と 2 研究科委員長が交代で日記を綴ります
卒業生の活躍	卒業生の活躍を掲載しています

お知らせは頻繁に更新され、大事な情報が掲載されることがあるのでこまめにチェックするようにしてください。

## 3.2 CNSに関するニュースを見る

CNSは24時間365日利用可能です。しかし機器の故障やメンテナンスなどで一部利用できなくなっている場合があります。そういったお知らせはITCのWebサイトに掲載されます。

インフォメーションテクノロジーセンター (ITC) がCNS上の機器を管理・運営しています。CNSは原則24時間365日利用可能ですが、機器のメンテナンスや停電などにより利用できない場合もあります。また機器の障害により特定のサービスだけが利用できないことも発生します。

CNSの停止に関するお知らせや、発生した障害に関するお知らせはITCのWebサイト (<http://itc.sfc.keio.ac.jp/>) で公開されています。メールが送れない、印刷ができないといった問題が発生したときは、こちらをまず確認するようにしましょう。問題に関する情報や対処方法が記載されている場合があります。

また障害に限らず、CNSに関するニュースにはSFCオフィシャルWebサイトのほうには記載されない情報も多いので、こちらをあわせチェックしておくといよいでしょう。

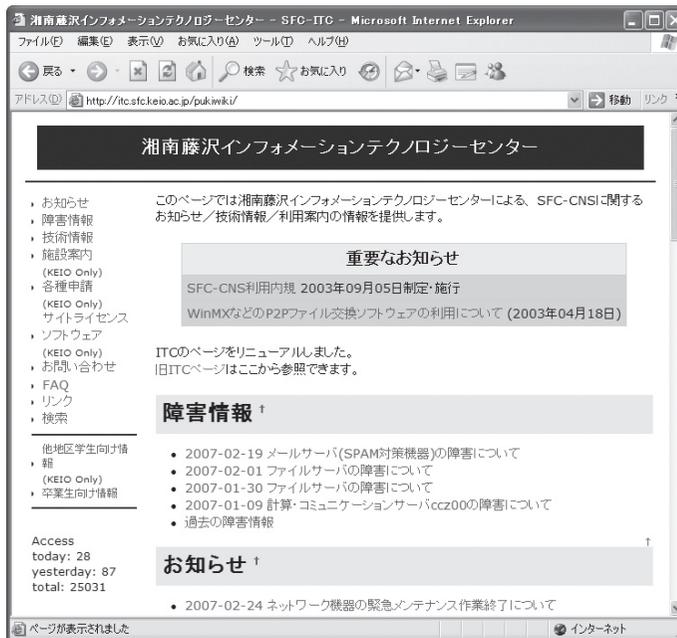


図3.2 障害情報とCNSに関するお知らせ

## 3.3 コンピュータに関する疑問を解決する

CNSや個人所有のPCに関してわからないことがある場合、CNSコンサルタントのWebサイトが参考になります。またITCのWebサイトにも技術的な情報があります。

### CNSコンサルタント

CNSコンサルタントとは、ノートPCと関連機器の貸し出し、また、CNSやコンピュータに関する質問を受け付けている学生団体です。コンピュータを使う上で疑問に思ったことがあれば、こちらのWebサイト (<http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/>) で調べるとよいでしょう。

画面上部のメニューにある「よくある質問」では、これまでに多くあった質問とそれに対する回答が掲載されています。また「CNSガイド」では、本書と同じ内容を閲覧できます。



図3.3 CNSコンサルタントのWebサイト

### ITC

ITCのWebサイトにはCNSに関するお知らせ以外にも、CNSで提供しているサービスに関する技術情報が公開されています。その中にはノートPCからCNSのサービスを利用するためのマニュアルも含まれます。CNSコンサルタントのWebサイトにない情報もありますので、問題が起きたときはこちらも参考にするとよいでしょう。



図3.4 ITCのWebサイト

## 3.4 休講・補講情報を見る

学事 web システムを利用して、休講や補講となっている授業を確認できます。学期のはじめに行う履修申告もこの学事 Web システムを利用します。

### 1 学事 Web システムを表示

Web ブラウザで学事 Web システム (<http://gakuji2.adst.keio.ac.jp/>) を表示します。PC 用メニューと携帯電話用メニューがあるので、PC 用メニューを選んでください。ページの中央のあたりに表示される「ログイン画面へ」のボタンを押し、ログイン画面へ移動します。



### 2 ログイン

学籍番号と学事 Web システムのパスワードを入力してログインします。学事 Web システムのパスワードは、学生証のケースに印刷されているものを使用します。

**ログイン画面**

---

学籍番号とパスワードを入力して、[ログイン] ボタンを押してください。

学籍番号

パスワード

### 3 休講・補講情報の検索

メニューから「休講補講情報」を選択します。表示されたページで条件を指定し、必要な情報を検索します。

### 4 ログアウト

確認し終わったら、「検索指定画面へ戻る」「メニューへ戻る」と順番に選んでメニューまで戻り、そこから「ログアウト」を選んでログアウトします。

## 3.5 レポートを提出する

レポートの提出は、基本的に各授業担当者の指示に従って提出することになりますが、ここではレポートシステムを利用した場合を解説します。Web サイト、もしくは電子メールからレポートを提出できるシステムです。レポートシステムの詳細については、マニュアルを参照してください。

### レポート提出に関する注意点

レポートの1 ページ目には、必ず提出日付・授業科目・担当者名・レポート課題名・学部学年・ログイン名・学籍番号・氏名を記載してから、本文を作成してください。

授業担当者が許可している場合は、添付ファイル（上限 3MB）での提出ができます。許可していない場合は、テキスト形式だけでレポートを提出します。

レポートは、受付期間中、何度でも提出できます。以前提出したものに上書きされ、最後に提出したもののみが有効となります。

### Web サイトからレポートを提出する

#### 1 ログイン

Web ブラウザでレポートシステム (<https://report.sfc.keio.ac.jp/>) を表示します。表示されたらログイン名と CNS パスワードを入力してログインします。

#### 2 レポート課題の検索

左側メニューから「レポート課題検索 / 提出」を選びます。表示されたページでは科目名・課題名・授業担当者名・レポート名 (Subject) ・提出受付期間からレポート課題を検索できます。

レポート課題検索/提出

検索キーワードを入力して下さい。

科目名:

課題名:

授業担当者:  (主担当者名)

レポート名(Subject):

検索日(Mail/Web受付)

開始日  2007 2 25 以降

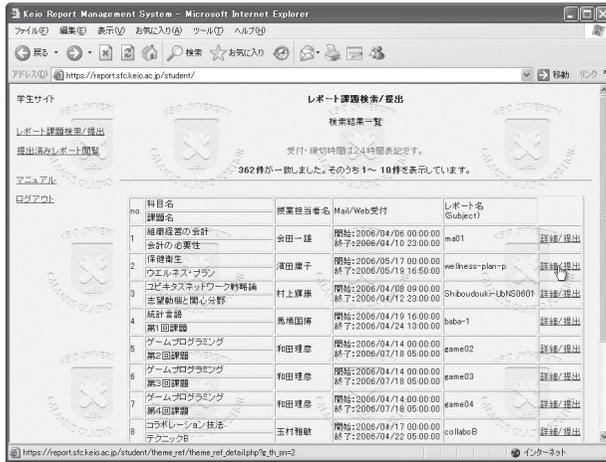
終了日  2007 2 25 以降

受付中のみ

指定しない

### 3 レポート提出

提出するレポートの詳細を表示したら、ページ下部の「レポートを提出する」ボタンを押します。提出ページが表示されるので、そちらから提出してください。



### 提出済みレポートを確認する

レポートが正常に受理されると、自分のメールアドレス宛てに、受理した旨が通知されます。このメールが受理証明となりますので、必ずメッセージを確認し、大切に保管してください。

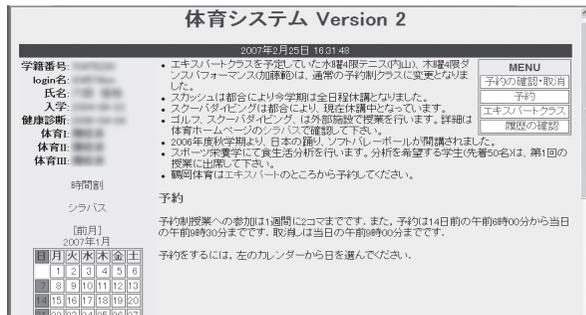
またレポートシステムの Web サイトから、左側メニュー「提出済みレポート閲覧」から、過去に自分が提出したレポートを検索できます。レポートシステムを用いて提出した後は、自分の提出したレポートをダウンロードし、文字化けなどが無いことを必ず確認してください。

## 3.6 体育を予約する

SFC では体育 1、2、3 の 3 つの体育の授業を履修する必要があります。体育 1 は自動的にクラスが割り振られますが、体育 2 と 3 では受けた授業を自分で予約するようになっています。授業は毎週予約をするようになっており、同じ授業を毎週履修する必要はありません。

### 1 体育システムへのログイン

予約は体育システムの Web サイト (<http://wellness.sfc.keio.ac.jp/>) で行います。ブラウザで Web サイトを表示したら、CNS のログイン名とパスワードを入力し「login」ボタンを押してログインします。ログインに成功すると、体育システムのメニュー画面が表示されます。



### 2 授業を予約する

授業を予約するには、画面左側のカレンダーから予約したい日を選んでください。予約する授業の「予約」チェックボックスにチェックを入れ、表の下にある「予約」ボタンを押します。人数が一杯になっている場合や予約が締め切られている場合など、その授業の予約ができない場合はチェックボックスは表示されません。予約の締め切り時刻は、授業当日の午前 9 時 30 分です。

シラバス		2007年1月17日(水曜)の授業の予約													
[前月] 2007年1月		予約制授業への参加は1週間に2コマまでです。また、予約は14日前の午前8時00分から当日の午前9時30分までです。取消は当日の午前9時00分までです。													
日	月	火	水	木	金	土	日	時限	教員	種目	回	状態	空き	予約	
7	8	9	10	11	12	13		2限	飯田 路佳	リズムムーヴメント	第13回	通常	28		
14	15	16	17	18	19	20	内山 勝		テニス(初級)	第13回	休講	32			
21	22	23	24	25	26	27	加藤 幸司		バドミントン	第13回	通常	6			
28	29	30	31				加藤 幸弘		ゴルフ(後半)	第13回	通常	セミエキスパート			
2007年2月									3限	飯田 路佳	卓球(後半)	第13回	通常	セミエキスパート	
4	5	6	7	8	9	10	内山 勝	テニス(中・上級)		第13回	休講	32			
11	12	13	14	15	16	17	加藤 幸司	バドミントン		第13回	通常	3			
18	19	20	21	22	23	24	加藤 幸弘	ゴルフ		第13回	通常	1			
25	26	27	28				飯田 路佳	卓球	第13回	通常	10				
[後月]									4限	内山 勝	テニス	第13回	休講	32	
							加藤 幸弘	ゴルフ		第13回	通常	5			
								平井 克夫	合気道	第13回	通常	15			

## 3.7 授業調査の結果を見る

SFCには授業調査という制度があります。これは講義を受講した感想を回収することで講義の質の向上を目指したものです。過去の調査結果は“SFC-SFS”(Site For Communication among Students, Faculty & Staff)で見ることができます。

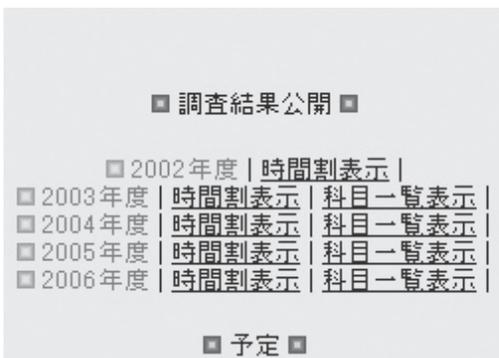
### 1 SFC-SFS の表示

Web ブラウザを起動し、SFC-SFS(<https://vu.sfc.keio.ac.jp/sfc-sfs/>)を表示します。



### 2 調査結果の検索

調査結果の検索には、時間割から目的の講義を選ぶ方式と、科目名の一覧から選択する方式の二通りがあります。トップページ中央にあるリンクのうち、自分にあった方式のものをクリックすることで検索が始められます。



### 3 現在履修中の講義の調査結果

トップページの左側に CNS のログイン名とパスワードを入力してログインすることで、現在履修中のものの調査結果を見ることができます。

## 3.8 シラバスを見る

シラバスとは大まかな講義計画のことです。講義の目的や授業スケジュール、履修制限、成績評価方法などが簡単にまとめられています。SFC で開講される授業は、講義案内のサイトでシラバスを閲覧できます。シラバスと授業時間割は、学期の開始前に公開されます。履修科目を決める前に、必ず一読しましょう。

### 講義案内・シラバス・授業検索

シラバスは Web サイトで公開されていますが、学部 / 研究科によってアドレスが異なります。URL は表 3.2 を参照してください。

表3.2 講義案内・シラバス・授業案内

学部 / 研究科	Web サイトのアドレス
総合政策学部, 環境情報学部, 政策・メディア研究科	<a href="http://vu.sfc.keio.ac.jp/course/">http://vu.sfc.keio.ac.jp/course/</a>
看護医療学部	<a href="http://vu.sfc.keio.ac.jp/course_nmc/">http://vu.sfc.keio.ac.jp/course_nmc/</a>
健康マネジメント研究科	<a href="http://vu.sfc.keio.ac.jp/course_hm/">http://vu.sfc.keio.ac.jp/course_hm/</a>

シラバスは科目名・教員名・キーワード・種別などを指定して検索できます。配布された時間割を頼りに検索してもよいですし、自分の興味ある科目名から検索してもよいでしょう。なお学外からアクセスした場合は、シラバスの閲覧には CNS アカウントのパスワードが必要になります。

### 研究会シラバス

研究会のシラバスについては、講義案内とは別のサイトで公開されています。研究会シラバスのサイト (<http://vu.sfc.keio.ac.jp/project/>) を表示することで閲覧できます。

シラバスは一覧の中から教員名で探します。研究会の中には、参加に事前の選抜・申込を設けているものもあります。学期初めだけではなく学期終わりにも、よくシラバスを確認しましょう。

## 3.9 Global Campus を利用する

KEIO University SFC Global Campus では、キャンパス内の講義をグローバルに共有し、学外の学習者に役立てるためのしくみとして、授業の内容をビデオ録画し、オンラインで資料を公開しています。2006年春学期には、39の授業がGlobal Campusを通じてアーカイブされ、履修者ならびに学外の学習者に利用されています。

### 講義の視聴

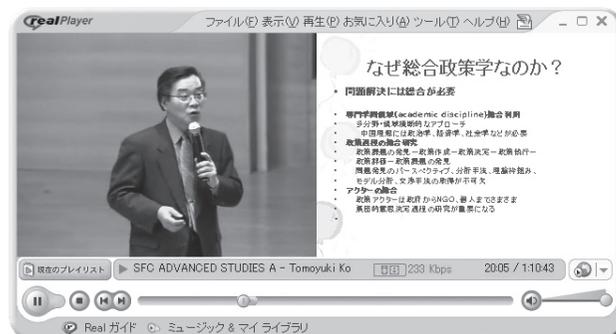
#### 1 Web サイトの表示

WebブラウザでGlobal CampusのWebサイト (<http://gc.sfc.keio.ac.jp/>) を表示します。Global Campusで公開されている講義は、自分が履修している・履修していないに関わらず、講義の内容をすべて閲覧できます。毎回の講義が、授業スライドと同期してビデオ視聴できるので、受講した内容を復習することも可能です。



#### 2 講義の視聴

視聴したい講義を選び、講義の週のページを開きます。その週のスライド一覧や配布資料が見られるほか、「ビデオを開始」というリンクより、Real Video形式でビデオを視聴できます。



## 視聴に関して

Real Video 形式のビデオを視聴するには、Real Network 社の RealPlayer がインストールされている必要があります。RealPlayer は <http://www.jp.real.com/> より、無償版がダウンロードできます。

講義のページの中で、授業資料の配布や、レポート提出が実施されることもあります。毎回「お知らせ」欄にも目を通すようにしましょう。

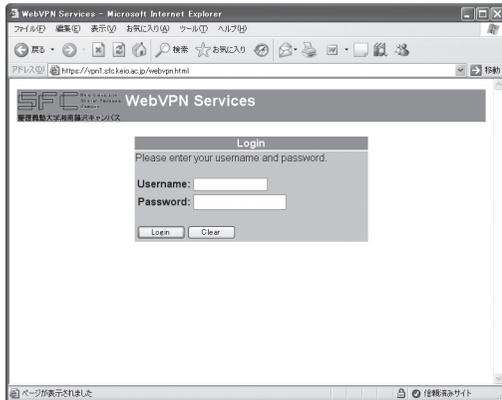
一部の講義や補講は、塾内限定で公開されることがあります。CNS アカウントのパスワードで認証することで、学外からも視聴が可能です。

## 3.10 学内 only コンテンツを見るには

一部の Web サイトは、そのページの性質上、閲覧を学内からに限定している場合があります。そのような Web サイトでも、CNS アカウントがあれば、学外からでも閲覧できます。CNS では、キャンパス外から学内コンテンツを利用するために、Web-VPN のサービスを提供しています。

### 1 Web-VPN 用のページを表示する

Web ブラウザで、<https://vpn1.sfc.keio.ac.jp/> にアクセスします。



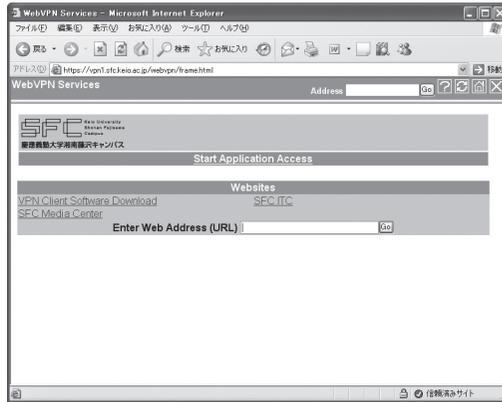
### 2 ログイン

CNS のログイン名・パスワードを入力し、ログインします。正しくログインできると、Web-VPN が利用できるようになります。



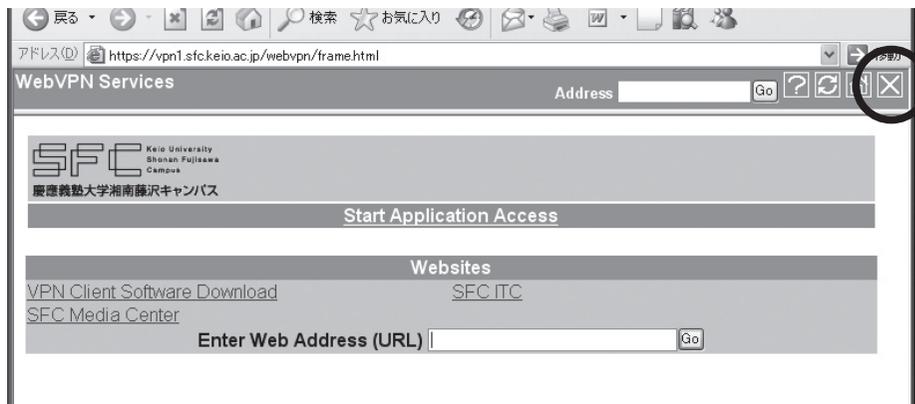
### 3 閲覧したいサイトのアドレスを入力

閲覧したいWebサイトのアドレスを入力します。下側のフレームに、コンテンツ内容が表示されます。



### 4 利用終了

利用を終了するときは、上側のフレーム右上の「×」ボタンを押します。



# 付録

---

# SFC-CNS利用内規

---

CNS/ERNS利用者各位

湘南藤沢キャンパス

## 湘南藤沢キャンパス－キャンパスネットワークシステム利用内規

以下のとおり、湘南藤沢キャンパス－キャンパスネットワークシステム（以下 SFC-CNS という）の利用内規を定める。

1. SFC-CNS利用者は、SFC-CNSが学術用ネットワークであることを承知しているものとする。
2. 教育・研究目的に該当しない以下のような行為には、SFC-CNSアカウントの利用承認の取り消し、または一定期間SFC-CNSの利用を停止する場合がある。アカウントの利用承認取り消しや利用停止によって、履修単位を取得できないなどの不利益を被ることがあるので、注意すること。
  - i. 営利目的での利用
  - ii. 公序良俗に反する行為
  - iii. 他人のプライバシーを侵す行為
  - iv. ネットワークの正常な運用を妨害する行為
  - v. 著作権などの知的所有権を侵害する行為
  - vi. 慶應義塾大学の品位を落とすような行為
  - vii. その他、法令、学内規定に違反する行為
3. ネットワークの正常な運用を妨げる機器が発見された場合、SFC-CNSとの接続を遮断する場合がある。
4. この内規は、不定期に見直されることがある。その場合は、現在の内規に上書きして運用される。
5. 湘南藤沢キャンパスは、以上を承知した者にSFC-CNSのアカウントを発行する。

以上

制定：2003年（平成15年）9月3日

施行：2003年（平成15年）9月3日

# 貸出ノートPCソフトウェア一覧

用途	ソフトウェア名称
パソコンの設定	Access IBM, IBM ハードディスク・アクティブプロテクション・システム, キーボード カスタマイズ・ユーティリティ, バッテリー省電力ウィザード, プレゼンテーション・ディレクター
PDF ファイルの閲覧	Adobe Reader
圧縮解凍	Lhaplus
インターネット・ブラウザ	Internet Explorer, Mozilla Firefox
擬似 UNIX 環境	Cygwin
データ解析	JMP, R, SPSS, SAS, FAME, LabVIEW
DVD 閲覧	VLC media player, WinDVD
CD 書き込み	DeepBurner, IBM DLA, IBM RecordNow
テキストエディタ	TeraPad, xyzy
グラフィック関連	IrfanView, GIMP, Inkscape
メールソフト	Becky! Internet Mail, Mozilla Thunderbird
Office	Microsoft Office Access, Microsoft Office Excel, Microsoft Office InfoPath, Microsoft Office Outlook, Microsoft Office PowerPoint, Microsoft Office Publisher, Microsoft Office Word
音楽 / 映像	QuickTime, RealPlayer, SoundMAX, Windows Media Player
ネットワーク関連	PuTTY, Tera Term Pro, WinSCP
ソフトウェア開発	Java Development Kit
インスタントメッセージ	Windows Live Messenger
アンチウイルスソフトウェア	ウイルスバスター

## CNS関係連絡先

---

### ITC

場所	メディアセンター 1 階北側 (CNS/ERNS サービス窓口)
電子メール	cns-request@sfc.keio.ac.jp
Web サイト	<a href="http://itc.sfc.keio.ac.jp/">http://itc.sfc.keio.ac.jp/</a>
内線	52512
外線	0466 (49) 3423
窓口受付時間	9:15 ~ 17:00 土曜日・日曜日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業

### CNS コンサルタント

場所	メディアセンター 1 階 CNS コンサルタントブース
電子メール	cns-consultant@sfc.keio.ac.jp
Web サイト	<a href="http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/">http://cnscon.sfc.keio.ac.jp/</a>
内線	52519, 52555
外線	0466 (49) 3425
窓口受付時間	9:20 ~ 22:30 土曜日・日曜日・祝日・慶應義塾の定める休日は休業 長期休業中については Web サイトを参照のこと

### AV コンサルタント

場所	メディアセンター 1 階 AV コンサルタントブース
電子メール	av-consultant@sfc.keio.ac.jp
Web サイト	<a href="http://www.sfc.keio.ac.jp/mhtml/AVconsultant/">http://www.sfc.keio.ac.jp/mhtml/AVconsultant/</a>

### DB コンサルタント

場所	メディアセンター 2 階データベース検索コーナー
電子メール	db-consultant@sfc.keio.ac.jp
Web サイト	<a href="http://www.sfc.keio.ac.jp/mhtml/DBconsultant/">http://www.sfc.keio.ac.jp/mhtml/DBconsultant/</a>

### 看護ファクトタム

場所	看護医療学部メディアセンター内カウンター
電子メール	fact-support@sfc.keio.ac.jp
Web サイト	<a href="http://nmcfact.sfc.keio.ac.jp/">http://nmcfact.sfc.keio.ac.jp/</a>
内線	55250

# SFC CNSガイドの著作権・著作権について

SFC-CNS の環境は多くのフリーソフトウェア、フリードキュメント、パブリックドメインソフトウェアの恩恵を受けています。この恩恵に少しでも応えるために、SFC CNS ガイドは次のような方針でその再利用を広く認め、社会に貢献していきます。

- － 下記の再配布規定の基づく、複写、翻訳、改変、修正、引用を許諾します。
- － 下記の再配布規定に基づき、印刷、配布、販売を許諾します。
- － 希望者には、電子媒体で原稿を配布します。  
(cns-guide-req@sfc.keio.ac.jpへの電子メールで受け付けます。)

## 再配布規定

- － 出典を明記してください。
- － 本書の原稿が無料で公開されていることを明記してください。

## キャンパス外無保証

本書の内容については、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス外からの問い合わせには応じていません。また、本書の補足訂正情報の、キャンパス外への積極的な公開は行っていません。

SFC-CNS ガイド 2007 年度版

©1993-2007 慶應義塾大学

発行日 2007年4月1日

編集 SFC CNSガイド編集委員会

〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤5322

0466 (47) 5111 (代表)

cns-guide-req@sfc.keio.ac.jp

印刷 大日本印刷株式会社